

令和8年度 入学者選抜要項

島根県立大学

島根県立大学短期大学部

別科助産学専攻

この入学者選抜要項は、令和7年7月末現在の状況で作成したものです。
これ以降の情報については、本学公式ホームページ及び学生募集要項で
ご確認ください。

目 次

●アドミッション・ポリシー	3
●国際関係学部（国際関係学科） ・ 入学者選抜要項	38
●地域政策学部（地域政策学科） ・ 入学者選抜要項	48
●国際関係学部・地域政策学部 共通事項	65
●看護栄養学部（看護学科、健康栄養学科） ・ 入学者選抜要項	72
●別科助産学専攻 ・ 入学者選抜要項	87
●看護栄養学部・別科助産学専攻 共通事項	91
●人間文化学部（保育教育学科、地域文化学科） ・ 入学者選抜要項	92
●短期大学部（保育学科、文化情報学科） ・ 入学者選抜要項	111
●人間文化学部・短期大学部 共通事項	125
●別紙1 入試日程	126
●別紙2 募集人員一覧	127

公立大学法人島根県立大学のアドミッション・ポリシー

- 幅広い基礎的な教養、学力を持つとともに、自分の考えを適切に表現できる人
- さまざまな課題に積極的に取り組む意欲と行動力を持ち、自らを高めようと志す人
- 北東アジアをはじめとするグローバルな社会や地域社会で活躍したい人

島根県立大学国際関係学部国際関係学科の アドミッション・ポリシー

教育内容・特色

島根県立大学国際関係学部国際関係学科は、次のような人材の育成を目的にしています。

- (1)多様な世界観が併存する国際社会の平和的発展に寄与する人
- (2)グローバルな視野を持って地球規模の諸課題への関心を深め、国際関係及び多文化コミュニケーションに関する高度な専門的知識を持つ人
- (3)北東アジアをはじめとする国際社会と日本との共生を目指して活躍する人

求める人材

国際関係学部国際関係学科では、本学部学科の教育課程を修めた学生が、本学科の目指す人材に成長できるように入学定員を定め、島根県立大学憲章、島根県立大学アドミッション・ポリシー、国際関係学部国際関係学科の教育目的に基づき、次のような素養がある人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1)高等学校教育における基礎学力
- (2)国内外の近代・現代社会についての基礎的な知識及び教養
- (3)外国語を含む言語の基本的な運用能力

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)国内外の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)北東アジアをはじめとするアジア地域や国際社会、またグローバル化した国内社会が抱える課題に強い関心を持ち、背後にある歴史や地域的特性について主体的に探究する姿勢
- (2)多文化・異文化への好奇心と寛容な姿勢を持ち、海外留学や学内外の様々な活動について積極的・能動的に関わる志向性
- (3)グローバル社会や国内社会で生じている諸課題の解決に向けて、異質な意見を持つ多様な人々との対話を通じて合意形成を目指すために、自らの資質と特性に合わせた役割を主体的に果たす姿勢

国際関係コースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

国際関係学部国際関係学科国際関係コースは、国際平和や地球規模の諸課題及びそれらが国内外の社会に及ぼす影響について、自らの問題関心をグローバルな視点から分析し、多文化共生のための知恵を編み出せる人材の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、国際関係コースでは、4年間の教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 北東アジアをはじめとした国際関係に関わる高度な専門的知識を身につけ、適切な学術的方法や専門的視角に基づいて、グローバル化に伴い複雑化した国内外の諸問題を理解する力
2. 多文化共生や地球規模の諸課題について、政治経済・社会動向・歴史・文化に関わる専門知識を手がかりにして分析的に探求し、その解決策を構想する力
3. 英語と北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）を修得することにより、異文化を深く理解し、多文化共生のツールとして駆使する力
4. 異文化に共感し、異質な意見を持つ多彩な他者とも対話・協働して能動的に合意形成を試みる力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「基礎教養科目群」の履修により、幅広い教養教育を通じて豊かな人間性と高い倫理観を涵養するとともに、北東アジアをはじめとした国際関係に関わる高度な専門的知識を修得するために「専門基礎科目」及び「専門科目」を体系的に学び、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めます。
2. 多文化共生や地球規模の諸課題に対する関心を深めて、学生自らが研究課題を設定し、能動的・主体的に学修する態度を涵養するために、すべての学年で演習などの少人数教育を履修します。
3. 「基礎教養科目群」に「語学・多文化理解科目」を配置し、異文化への共感力を養うとともに、北東アジアをはじめとする国際社会と日本との共生を図るためのツールとして、英語及び北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）を修得します。
4. すべての学年で履修する演習等での少人数教育を通じて、他の参加者と議論、対話、協働して主体的・能動的に学ぶ姿勢を指導します。

求める人材

国際関係コースでは、学生が、上記の内容・特色を持つ教育課程を修めることを通じて、本コースの目的とする人材に成長できるように募集人員を定め、国際関係学部国際関係学科のアドミッション・ポリシー、国際関係コースの教育目的に基づき、次のような素養を持つ人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1) 国際関係コースの専門分野を学ぶために必要となる、世界や日本の近代・現代社会についての基礎的な知識及び教養
- (2) 日本語の文章の読解力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
- (3) 外国語の基礎の修得と、外国語の基本的な運用能力

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)北東アジアをはじめとする国際社会や、グローバル化が進む日本国内の社会が抱える諸課題について、根拠に基づき論理的な筋道を立てて考察し、自らの意見を説得力のある形でまとめ、他者に伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)北東アジアをはじめとするアジア地域や国際社会、またグローバル化した国内社会が抱える課題に強い関心を持ち、背後にある歴史や地域的特性について主体的に探究しようとする姿勢
- (2)多文化・異文化への好奇心及び寛容な姿勢と、海外留学や学内外の様々な多文化共生活動について積極的・能動的に関わる志向性
- (3)グローバル社会や国内社会で生じている諸課題の解決に向けて、異質な意見を持つ多様な人々との対話を通じて合意形成を目指すために、他者と協働しつつ、自らの資質と特性に合わせた役割を主体的に果たす姿勢

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 文理科目を分け隔てることなく、高等学校教育課程で学ぶ科目の十分な基礎学力
2. まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
3. 他者の話を的確に聞き取り、相手の質疑に適切に対応して自分の考えを分かりやすく伝える力
4. 地理歴史・公民の知識を総合的に関連づけて問題関心を養い、自己の体験総体を生かして幅広い視野から日本及び世界で生じている複雑な社会現象を考察しようとする意欲
5. 自らの関心に従って、高等学校での学習に関連する事柄について、旺盛な知識欲と好奇心を持って調べ抜く姿勢
6. 外国語の学習を通じて、言語コミュニケーションに必要とされる基礎的な受信・発信能力を備えるとともに、その言語の背景にある社会・文化を理解しようと努める姿勢

選抜の基本方針

入学者選抜においては、国際関係コースの教育プログラムを受けるための適性を備えた人々を多様な方法で選抜するために、複数の入試区分を設けて募集人員を割り当て、多彩で個性的な人々が入学することを目指します。各入試区分の選抜方法とそのねらいを以下に示します。

1. 一般選抜（前期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、小論文の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語と外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から得点の高い2教科の得点を採用し、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。小論文では、国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる北東アジアを中心とする国際関係への関心について自ら論を立てて記述させ、主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。なお、調査書における高等学校での学習成果や活動の記録等の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、小論文評価の際の参考とします。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、国語、地歴・公民、数学、理科、情報のうち最高得点の1教科の得点を採用し、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、調査書における高等学校での学習成果や活動の記録等の記述を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力と、国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる問題関心に基づき、高等学校における総合的な探究の時間における探究的な学習の成果と関連づけて自ら論を立てて記述させ、主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。面接では、学校長等の推薦書、調査書及び志願者が記載する資料（総合的な探究の時間の成果物等、志願理由書、大学での学修計画書）を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力と、文章読解力及び社会への問題関心や理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。面接では、調査書及び志願者が記載する資料（志願理由書、大学での学修計画書）を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		
		小論文	○	◎	◎
	後期日程	共通テスト	◎		
		面接		◎	◎
学校推薦型 選抜	一般推薦	小論文	○	◎	○
		面接	○	◎	◎
総合型選抜	自己推薦	小論文	○	◎	○
		面接	○	◎	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P65（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

国際コミュニケーションコースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

国際関係学部国際関係学科国際コミュニケーションコースは、北東アジアをはじめとする国々の言語や民族・生活習慣等に関する理解、および言語コミュニケーションについての知識を基礎とし、国際語としての英語や北東アジア地域諸国の言語を活用して、自らの考えを積極的に発信するとともに、国籍や民族などの異なる他者の価値観についても受容できる、偏見のない豊かな多文化共生社会の構築に寄与できる人材の育成を目的としています。この教育目的を達成するために、国際コミュニケーションコースでは、4年間の教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 言語学とコミュニケーション学に関する高度な専門知識を身につけ、国際的なコミュニケーションに関する問題を分析し、解決策を探求する力
2. 日本および諸外国の文化や歴史等に関する知識を基礎として、異なる文化的背景を持つ他者とも対話を通じて相互に理解する力
3. 高度な英語の運用能力と北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）の基礎的運用能力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「基礎教養科目群」の履修により、様々な学問領域にわたる教養や、地域社会および国際社会の諸問題に関する事柄を幅広く学ぶとともに、国際的なコミュニケーションに関する専門的知識を習得するために「専門基礎科目」及び「専門科目」を体系的に学び、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めます。
2. 「基礎教養科目群」に「語学・多文化理解科目」を配置し、「専門基礎科目」及び「専門科目」における言語学・コミュニケーション学や、言語の運用についての学びの素養を培います。
3. すべての学年に配置する演習科目での少人数教育や、海外の協定校の学生とテレビ会議やインターネットのチャット機能を用いてディスカッションを行う授業を通じて、他の参加者と議論、対話、協働して主体的・能動的に学ぶ姿勢を育成します。

求める人材

国際コミュニケーションコースでは、学生が、上記の内容・特色を持つ教育課程を修めることを通じて、本コースの目的とする人材に成長できるように募集人員を定め、国際関係学部国際関係学科のアドミッション・ポリシー、国際コミュニケーションコースの教育目的に基づき、次のような素養を持つ人の入学を広く求めています。

1. 知識・技能

- (1) 国際的なコミュニケーションに関する問題を学ぶにあたって必要となる英語や国語の基礎学力
- (2) 諸外国の社会や文化についての基礎的な知識

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 現代社会における様々な出来事について問題意識を持ち、自分の考えをまとめる力
- (2) 自分の考えを、他者に対して的確に、わかりやすく伝える力

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)地域および国際的な諸問題について広く関心を持ち、より良い社会の構築に向けて、主体的に貢献したいという意欲
- (2)対話を通じ、自らの考えを積極的に発信するとともに、多様な考えを受け入れながら、他者と力を合わせ、目標を達成しようとする姿勢

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程で学ぶ科目の十分な基礎学力
2. まとまった分量のある日本語の文章を筋道立てて読み解く力と、口頭及び文章で適切な日本語を論理的に運用する力
3. 英語の文章を読み解く力と、口頭及び文章による基本的な受信・発信能力を備えるとともに、その言語の背景にある社会・文化を理解しようと努める姿勢
4. 他者の話を的確に聞き取り、相手の質疑に適切に対応して自分の考えを分かりやすく伝える力
5. 自らの関心に従って、高等学校での学習に関連する事柄について、旺盛な知識欲と好奇心を持って調べ抜く姿勢

選抜の基本方針

入学者選抜においては、国際コミュニケーションコースの教育プログラムを受けるための適性を備えた人々を多様な方法で選抜するために、複数の入試区分を設けて募集人員を割り当て、多彩で個性的な人々が入学することを目指します。各入試区分の選抜方法とそのねらいを以下に示します。

1. 一般選抜（前期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、小論文の評価を総合して行います。大学入学共通テストにおいては、国語と外国語（英・独・仏・中・韓のいずれか1科目）を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から得点の高い2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。小論文では、日本語と英語による問題を課し、日本語による思考力・表現力と英語による表現力に加えて、国際コミュニケーションコースで学ぶ上での関心や主体性を評価します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストにおいては、国語と英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報のうち最高得点の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。面接では、国際コミュニケーションコースでの学びに対する理解や意欲、自己表現力など、国際コミュニケーションコースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、英語による小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、高等学校教育課程の基礎学力、英語の運用能力、理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。面接では、調査書及び志願理由書を参照しつつ、問題関心、理解力・判断力・表現力、国際コミュニケーションコースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎		
		小論文		○	○
	後期日程	共通テスト	◎		
		面接		○	○
総合型選抜	自己推薦	小論文	○	◎	
		面接		○	○

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P65（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

地域政策学部地域政策学科のアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

島根県立大学地域政策学部地域政策学科は、地域社会やその関連する領域において、さまざまな地域の関係者とコミュニケーションをとりながら協力・協働し、企業や自治体、社会などの問題解決と地域の自律的・持続的発展に寄与することのできる人材を育成することを目的としています。

求める人材

求める学生像は次のとおりです。

1. 知識・技能

- (1)社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる読解力やものの見方を身につけている人
- (2)大学における学修に必要となる幅広い基礎学力や教養を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)多角的な視点に立って物事をとらえ、柔軟な発想ができる人
- (2)自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域の諸課題について広く関心をもつとともに、課題の解決に取り組む意欲があり、主体的に学修に取り組むことができる人

経済経営・デジタルマネジメントコースの アドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科経済経営・デジタルマネジメントコースでは、「経済学や経営学に関する知識や考え方にに基づき、行政や企業と連携する地域活動を行い、デジタル技術やデータ分析、プロジェクト管理手法などを用いて、地域経済や企業の発展に貢献できる人材」を育成することを目指しています。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域の様々な主体との連携に基づくフィールドワーク等を通じて、地域や企業等の価値や問題を発見する力
2. 地域や企業等が抱える問題について、専門的知識やものの見方を用いて解決策を構想する力
3. 自分の考えをわかりやすく提示し、他者に論理的に説明する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の根幹となるような基礎的・専門的な知識を確実に身につけられるように、「専門基礎科目群」及び「専門科目群」に「コア領域科目」を配置し、基礎から応用・発展へと着実に専門性を高めていきます。

2. 経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の専門的な知識科目に加え、「関連領域科目」として、法、政治・行政、社会学などの科目を幅広く配置することで、多角的な視点を養い、学修の効果を一層高めます。
3. 演習科目では、行政や支援機関、企業とも連携し PBL（問題解決型学習）やフィールドワークを取り入れます。
4. 卒業研究では、PBL（問題解決型学習）やフィールドワーク、デジタル技術の活用やデータ分析等を行い、地域にとって、あるいは、学術的に有意義なものを目指します。

求める人材

1. 知識・技能

- (1) 経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、読解力及びものの見方を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 目的をしっかりと見据え、自ら進んで考えることができる人
- (2) 自身の考えを明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 島根県やその他の地域の地域経済や企業等が抱える問題について関心をもち、経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析の知識や方法を用いてその問題解決に取り組みたいという意欲をもった人
- (2) 多様な人々と協働しながら学修を進めるために必要な協調性がある人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自身が関心をもちことがらに関して信頼できる情報を収集し、文章や図表、統計資料等を利用して考察する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを口頭や文章で表現する力
4. 地域経済や企業、デジタル技術やデータ分析についての高い関心
5. 自身が関心をもちことがらについて主体的に探究していく力
6. 他者と協働しながらひとつのことを成し遂げる力

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の

得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、総合問題及び面接の評価を総合して行います。総合問題では、課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める記述・論述式の問題を出題します。これにより、本コースにおいて経済学、経営学、デジタル技術やデータ分析を学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを判定評価します。また、面接により、本コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎
学校推薦型 選抜	一般推薦	総合問題	○	◎	○
		面接	○	○	◎
総合型選抜	自己推薦	総合問題	○	◎	
		面接	○	○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P65（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

地域公共コースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域公共コースでは、生活圏である地域の持続と発展、そして人々の共生のために、多様性を尊重しつつ、公共の見地から多様な知識を融合させて、協働と自律の理念のもとに、課題の解決策を立案できる人材を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、次項の能力を養成します。

1. 法、政治・行政、社会の各領域を支えている根本原理について理解し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力
2. 多様な人々が共生する地域社会の自律した個人として、多様性を尊重しつつ、自らの意見や考えを公共的な見地から発信する力
3. 多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「コア領域科目」の履修を通じて、法、政治・行政、社会の領域に加えて、公共政策に関わる専門的な知識を修得し、俯瞰して政治・社会的事象を考察する力を身に着けます。
2. 「専門基礎科目群」及び「専門科目群」の「関連領域科目」の履修を通じて、政策、環境、経済、経営等の幅広い知識を修得し、公共的な課題の解決策を「政策」という形で構想する力を培います。
3. 演習科目では、少人数教育を通じて、多様な知識を融合させ、地域社会の様々なステークホルダーと協働しながら、人々の共生に向けて、課題の解決策を立案する力を培います。

求める人材

1. 知識・技能

- (1) 公共的な課題について考察するために必要な基礎知識と文章の読解力を身につけている人
- (2) 自分自身の主張を口頭で分かりやすく伝達する適切な日本語の運用能力を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 広く人々が関心を持つ公共的な観点から、地域の多様な課題について考察し、議論することができる人
- (2) 多様な人々の考えや主張を傾聴したうえで、幅広い視点から柔軟に思考することができる人
- (3) 自分自身の考えや主張を明確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1) 自ら課題を発見し、他者と協働してその課題を解決しようとする姿勢を身につけている人
- (2) 広く人々が関心を持つ公共的な見地から、自分自身の知見を広げ、善き社会の実現に向けてその知見を活かそうとする意欲を持つ人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 日本語の文章の読解力と適切に日本語を運用する力
3. 他者の話を的確に聞き取る傾聴力と自分の考えを分かりやすく伝える力
4. 幅広い視野から公共的な課題を考察しようとする意欲
5. 地域の多様な課題に対して、公共的な観点から考察・議論することへの関心
6. 多様な学問領域への関心と多様な知識を融合して、課題を発見し、解決しようとする意欲

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報、英語から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	○
学校推薦型 選抜	一般推薦	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P65（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

地域づくりコースのアドミッション・ポリシー

教育内容・特色

地域政策学部地域政策学科地域づくりコースでは、地域の人々と密接なコミュニケーションをとりながら、地域の見落とされている価値や資源を発掘し、地域が直面する課題に自分独自の解答を見出すことができる「地域で生きる自立型人材」を育成します。

この教育目的を達成するために、本コースの教育課程を通じて、以下の能力を養成します。

1. 地域が保有する資源や価値を様々な角度から分析し、的確に評価する力
2. 地域が保有する資源を再検討し、新たな価値を見出すとともに、地域と協働して課題解決に取り組む実践的な力
3. 取組みの成果をわかりやすく提示し、地域に還元する力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 実践型の授業科目（アクティブ・ラーニング）を配置し、地域の特徴と課題を把握できるスキルをみがきます。
2. 地域住民をはじめとした地域の様々な関係者とのコミュニケーションを通して、地域づくりに必要な構想力を養いながら、プロジェクトを実際に企画・立案・実行し評価できる能力を養います。
3. 地域との協力・協働による実践的な活動を通して、多様な視点から地域社会を分析し、課題解決に向けたアイデアを具体化できる能力を身につけます。

求める人材

1. 知識・技能

- (1)他者と議論して考え方をまとめたり、成果物を作成するために必要となる基礎学力や教養を身につけている人

2. 思考力・判断力・表現力

- (1)自身の考え方や主張を、論理的に説明することができる人
- (2)複雑な事案に向き合い、その原因と結果を探究し、わかりやすく表現できる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- (1)地域社会の課題解決に向け、主体的かつ積極的に他者と協働する姿勢をもつ人
- (2)地域社会の新しい担い手となる意欲を持ち、それに向けて努力を惜しまない人

高等学校段階までの学習で身につけてほしいこと

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自分のオリジナリティを大切にし、自分自身で考える力
3. 自分の考えを分かりやすくまとめ、他者に伝える力
4. 地域が抱える問題に関心を持ち、主体的に探究しようとする姿勢
5. 前向きなチャレンジ精神と強い学修意欲

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

大学入学共通テストの評価により、合格者を決定します。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴、公民、数学、理科、情報から高得点の2教科の得点を採用します。これにより、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。

なお、合否ボーダーライン層については、上述の考え方による大学入学共通テストの得点に加え、書類審査（調査書及び活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、これらを総合して合格者を決定します。

2. 一般選抜（後期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語・英語を必須とし、それ以外は、地歴・公民、数学、理科、情報から最も高い点数の1教科の得点を採用し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また、面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

3. 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

合格者の決定は、プレゼンテーション及び面接の評価を総合して行います。島根に愛情を持ち、支えていこうという思いと夢のある人を、高校と大学が共に育てます。プレゼンテーションと面接によって、本コースで学ぶにあたって必要となる基礎的な知識、「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。

4. 総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、プレゼンテーション、小論文及び面接の評価を総合して行います。高校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPOや高校生起業家などの学外活動において、自分の役割をはっきりと認識し、主体的かつ意欲的に取り組んできた経験がある人を対象としています。プレゼンテーションと面接により、本コースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。また、小論文によって基礎学力を評価します。

各選抜方法において重視する力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

区分		選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○	
		書類審査			○
	後期日程	共通テスト	◎	○	
		面接		○	◎
学校推薦型 選抜	しまね高大 連携推薦	プレゼンテーション	○	◎	◎
		面接		○	◎
総合型選抜	自己推薦	プレゼンテーション	○	◎	◎
		小論文	◎	○	
		面接		○	◎

※特別選抜（社会人、帰国生及び私費外国人留学生）については、P65（島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する特別選抜における「選抜の基本方針」）を参照ください。

島根県立大学看護栄養学部のアドミッションポリシー

島根県立大学看護栄養学部 アドミッションポリシー

1. 豊かな人間性を備え、看護学もしくは栄養学に関心がある人
2. 人々の健康に関する分野で、何事にも前向きに挑戦する意欲がある人
3. 保健・医療・福祉・教育等の分野を学ぶ上で、必要な学習能力を備えている人

看護学科アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部看護学科は、「人々のいのちを支え、健康（すこやか）な暮らしを創るために地域と共に歩み続ける看護専門職」を育成することを目指しています。

1. 看護専門職として看護実践に必要な基本的な技術と知識を身につけ、深い人間理解と高い倫理観をもって判断し、行動できる人材。
2. 市民的な教養と豊かな人間性をもち、保健・医療・福祉等に携わる人々と協働、連携できる人材。
3. 地域の人々との関わりを通じて地域の特性と健康課題を明らかにし、課題解決に向けて創造的に行動できる人材。

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 地域に焦点を当てたカリキュラムの導入
2. 看護実践を支える知識・技術の修得強化
3. 学生の主体的な取り組みや課題探求力の強化
4. 看護の質の向上への研究や地域貢献機能の強化

求める人材

1. 人間が大好きで生命の尊厳を重視し、看護に高い関心がある人
2. 強い責任感と倫理観に支えられた豊かな人間性を備えている人
3. コミュニケーション能力や看護学を学ぶ上で必要な学習能力をもつ人
4. 主体的に課題を解決する意欲と行動力を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 保健・医療・福祉に対する高い関心や学習意欲
3. コミュニケーション能力と表現力
4. 自分の発言や行動への責任感

選抜の基本方針

1. 一般選抜（前期日程）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・一般選抜（島根県地域枠）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 指定校推薦）

合格者の決定は、高等学校在学中のポートフォリオ、小論文、面接の評価を総合して行います。ポートフォリオでは、本学が提示する作成要項に基づき作成・提出されたものから、人物、学習の実績および学習能力、看護への関心、将来の展望や意欲を評価します。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接では、出身地域への保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲を重視して評価します。

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 専門高校・総合学科枠）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・総合型選抜

合格者の決定は、1次試験の書類選考、2次試験のレポート、面接の評価を総合して行います。1次試験通過者には2次試験としてレポートと面接を課します。1次試験の書類選考では、高等学校在学中の学習の状況と活動実績から課題解決に向けた実践力、将来計画書による今後の展望から学習への意欲、更に論理的思考や表現力などを評価します。2次試験のレポートでは、複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。2次試験の面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性等を評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、面接の評価を総合して行います。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。

各選抜における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・一般選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・一般選抜（島根県地域枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（一般推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	○		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 指定校推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
高等学校在学中のポートフォリオ			◎
小論文	○	○	
面接		○	○

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 専門高校・総合学科枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・総合型選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
書類選考	○		◎
レポート	○	◎	
面接		○	○

・社会人・学士特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・帰国生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・私費外国人留学生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
日本留学試験	◎		
面接		○	○

健康栄養学科アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部健康栄養学科は、「自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人」を育成することを目指しています。

1. 管理栄養士として療養者に対し、高度の専門的知識・技術を要する健康の保持増進のための栄養の指導を行うことのできる人材
2. 栄養学・健康科学など関連する諸科学に基づく判断力を持ち、管理栄養士・栄養士の倫理綱領を基盤として、関連職種と連携して協働できる人材
3. 地域の特性と健康課題を明らかにし、地域の健康づくり及び公衆衛生の改善に参画できる人材

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 関連職種連携を重視したカリキュラム
2. 在宅栄養ケアに対応できる人材の育成
3. 地域の健康・栄養課題を行政と連携して解決できる人材の育成
4. 地域の健康福祉分野・地場産業との研究・教育活動を介した連携

求める人材

1. 自然科学に基づく思考力・分析力や食と健康に関わる学問への興味・熱意をもつ人
2. 管理栄養士としての専門知識に基づき、保健・医療・福祉・教育等の分野において社会に貢献しようとする意欲をもつ人
3. 地域への関心と人への思いやりをもち、地域社会において関連職種や関係機関と連携して活動するための協調性を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程までの基礎学力及び自然科学に基づく思考力と分析力
2. 食と健康に関わる分野への明確な目的意識
3. 積極的に学ぶための学習習慣
4. 相手を尊重し、適切にコミュニケーションできる能力

選抜の基本方針

・一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・一般選抜（島根県地域枠）

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 専門高校・総合学科枠）

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・総合型選抜

合格者の決定は、1次試験の書類選考、2次試験のレポートと面接の評価を総合して行います。1次試験通過者には2次試験としてレポートと面接を課します。1次試験の書類選考では、高等学校在学中の学習の状況と活動実績から課題解決に向けた実践力、将来計画書による今後の展望から学習への意欲、更に論理的思考や表現力などを評価します。2次試験のレポートでは、複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。2次試験の面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、栄養学への興味・熱意、管理栄養士への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

各選抜における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・一般選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・一般選抜（島根県地域枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	◎		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（一般推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
大学入学共通テスト	○		
面接		○	○

・学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 専門高校・総合学科枠）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・総合型選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
書類選考	○		◎
レポート	○	◎	
面接		○	○

・社会人・学士特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・帰国生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
小論文	○	◎	
面接		○	○

・私費外国人留学生特別選抜

【学力の3要素】との対応	①	②	③
日本留学試験	◎		
面接	◎	○	○

別科助産学専攻アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学別科助産学専攻は、「高度な助産実践能力と倫理観を備え、地域に貢献できる助産師」を育成することを目指しています。

1. 助産実践能力
2. 関連職種と連携・協働し島根県の母子保健医療福祉に貢献できる能力
3. 倫理観を備え、広い視野で自己の資質向上を図る能力

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 助産診断技術や周産期救急など実践能力の強化
2. 地域の助産師実践活動の実践を学ぶ機会の充実
3. 生殖補助医療に関する支援など倫理的課題対応力の強化
4. 医療施設、行政との連携と地域貢献機能の強化

求める人材

1. 人間が大好きで、生命の尊厳を重視する倫理観と強い責任感、豊かな人間性を備えている人
2. コミュニケーション能力や助産学を学ぶ上で必要な学習能力をもつ人
3. 課題解決に向けて主体的に行動できる人
4. 島根を愛し地域の発展に貢献する意欲のある人

看護師免許受験資格取得段階で習得しておくべき内容

1. 看護学に関する基礎学力
2. 母子保健・医療・福祉への高い関心や学習意欲
3. 豊かなコミュニケーション能力と倫理的感応力

選抜の基本方針

・一般選抜（一般選抜）

合格者の決定は学力試験、面接の評価を総合して行います。学力試験では看護学（母性・小児・基礎看護学分野）の基礎学力を評価します。面接ではアドミッションポリシーとの適合を評価します。

・一般選抜（島根選抜）

合格者の決定は学力試験、面接の評価を総合して行います。学力試験では看護学（母性・小児・基礎看護学分野）の基礎学力を評価します。面接ではアドミッションポリシーとの適合を評価します。

・推薦型選抜（学校推薦）

合格者の決定は面接で行います。面接ではアドミッションポリシーとの適合を評価します。

・推薦型選抜（学内推薦）

合格者の決定は面接で行います。面接ではアドミッションポリシーとの適合を評価します。

各選抜における求める力（評価する力）

◎：特に重視する ○：重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②（①を基にした）思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・一般選抜（一般選抜）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
学力試験	◎		
面接		○	○

・一般選抜（島根選抜）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
学力試験	◎		
面接		○	○

・推薦型選抜（学校推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
面接		○	○

・推薦型選抜（学内推薦）

【学力の3要素】との対応	①	②	③
面接		○	○

島根県立大学人間文化学部のアドミッションポリシー (入学受入方針)

島根県立大学人間文化学部のアドミッションポリシー

人間文化学部では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学力について、次のとおり定めます。

[知識・技能]

- 高等学校における基本的な教科を幅広く理解し、大学で学んでいく上で必要な基礎的な学力を身に付けている人

[思考力・判断力・表現力]

- 広く多様な角度から物事を捉える視野と、自ら主体的に考える姿勢を有し、自らの考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- 大学での学びを地域に還元し、他者と協調しながらこれからの地域社会を担っていこうとする強い意欲のある人

保育教育学科のアドミッションポリシー

教育内容・特色

保育教育学科では、「地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性をもった保育者・教育者」及び「乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障がいのある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材」を育成します。

保育教育学科の教育内容の特色は次のとおりです。

1. 地域の課題を自ら探求する能力の育成
2. 地域の人間と文化の魅力を、次世代を担う子どもたちに継承することができる表現力の育成
3. 子どもの発達や学習過程についての高い専門性と考察力の育成
4. 集団での協同実践能力の育成

求める人材

保育教育学科では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学力について、次のとおり定めます。

[知識・技能]

- 保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力を有している人

[思考力・判断力・表現力]

- 多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- 保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

また、高等学校段階で修得しておくべき内容は次のとおりです。

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 自ら課題を発見し、考えたことを表現する力（課題発見力、思考力、表現力）
3. 保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲
4. 豊かなコミュニケーション能力

選抜の基本方針**一般選抜**

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等の保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接（プレゼンテーションの要素を含む）では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、課題発見力、思考力、表現力、豊かなコミュニケーション能力等の保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学習活動や課外活動等の努力及び成果、それを踏まえた将来の展望と学習意欲を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても用います。

総合型選抜（地域教員希望枠）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、教育に対する高い関心や学習意欲、課題発見力、思考力、表現力、豊かなコミュニケーション能力等を口頭試問も踏まえて総合的に評価します。また、島根県内で教職に就くことへの意欲や展望も評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、教育に関わる学習活動や高等学校での課外活動等の努力及び成果、それを踏まえた学習意欲、将来の島根県の教員としての展望を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても用います。

社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、文章や資料の読解力及び課題発見力、思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、保育・教育・福祉に対する高い関心や学習意欲、豊かなコミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	◎		
	面接	○	○	◎
学校推薦型選抜 (一般推薦)	小論文	○	◎	
	面接（プレゼンテーションを含む）		◎	◎
	書類審査	調査書	○	○
		志願理由書	○	○
総合型選抜 (地域教員希望枠)	小論文	○	◎	
	面接		◎	◎
	書類審査	調査書	○	○
		志願理由書	○	◎
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎
	書類審査	○		
帰国生特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎
	書類審査	○		
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎
	書類審査	○		

地域文化学科のアドミッションポリシー

教育内容・特色

地域文化学科では、「地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材」を育成します。

地域文化学科の教育内容の特色は次のとおりです。

- ・日本及び海外諸地域の文化について探求し、文化を多面的に捉える広い視野の獲得
- ・異なる地域や異なる時代の様々な人間の生き方や文化を尊重する寛容と共生の精神の獲得
- ・豊かな的確な表現力と円滑なコミュニケーション力の育成

求める人材

地域文化学科では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める能力について、次のとおり定めます。

【知識・技能】

- 文化に関する様々な分野からの専門的な学びを深めていくために必要な基礎的な学力を有している人

【思考力・判断力・表現力】

- 広い視野から事象を見て、自ら見出した課題を主体的に考え、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

【主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度】

- 地域の文化から日本、海外諸地域の文化まで多様な視点から文化について学び、学んだことを地域において還元し、社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

また、高等学校段階で修得しておくべき内容は次のとおりです。

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 主体的に考え、自らの行動に責任をもって行動できる態度
3. 文化に対する高い関心や学習意欲
4. 自らの考えを適切に表現でき、他者との対話を通じて自らの考えを伝えることのできる能力

選抜の基本方針

一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は調査書及び受験者本人の作成する活動報告書を対象とし、高等学校での学習活動や課外活動等の成果を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、過去3年間に熱心に取り組んだこと、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は調査書及び受験者本人の作成する活動報告書を対象とし、高等学校での学習成果、課外活動等の成果を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

総合型選抜（地域教員希望枠）

合格者の決定は、小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、過去3年間に熱心に取り組んだこと、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。さらに出願時に提出を求める地域教員希望枠志願理由書をもとに質問することで、島根県内で教職に就くことへの意欲と展望を評価します。書類審査は調査書及び受験者本人の作成する活動報告書を対象とし、高等学校での学習成果、課外活動等の成果を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、文章理解力、論理的な記述、表現力を評価します。面接では、地域文化学科の学びへの関心、学んだことを地域に還元し、社会に貢献していこうとする意欲、コミュニケーション能力等を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学歴における学習成果を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	◎		
	面接		◎	○
学校推薦型選抜 (一般推薦)	小論文	○	◎	
	面接		◎	○
	書類審査	◎		○
総合型選抜 (自己推薦) (地域教員希望枠)	小論文	○	◎	
	面接（プレゼンテーション要素を含む）		◎	○
	書類審査	◎		○
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○
帰国生特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	○
	書類審査	◎		○

島根県立大学短期大学部のアドミッションポリシー (入学者受入方針)

島根県立大学短期大学部及び各学科では、教育研究上の目的、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、受け入れる学生に求める学力について、次のとおり定めます。

島根県立大学短期大学部のアドミッションポリシー

1. [知識・技能]

- 高等学校における基本的な教科を理解し、短期大学で学んでいく上で必要な基礎的な学力を有している人

2. [思考力・判断力・表現力]

- 基礎的コミュニケーション能力を持ち、自分の考えを的確に表現できる人

3. [主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- 多様な視点から学び、その成果を地域のために役立てる意欲のある人

保育学科のアドミッションポリシー

1. [知識・技能]

- 短期大学で学んでいく上で必要な基礎的な学力を有している人

2. [思考力・判断力・表現力]

- 課題の内容を理解し、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

3. [主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- 保育者として、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

教育内容・特色

保育学科では、保育、教育、福祉についての理論や技術を学ぶことを通じ、保育者に求められる専門性を理解し、豊かな人間性をもった人材を育成します。

保育学科の教育内容の特色は次のとおりです。

1. 地域における人間の生き方や文化の様態について価値を見いだす力の育成
2. 子どもの発達や保育問題について取り組むための専門性と実践力の育成
3. 人と関わり集団で活動するための協同する力の育成

選抜の基本方針

一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、保育への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、保育への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学業、人物、能力・適性等を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても活用します。

総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、保育への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学業、人物、能力・適性等を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても活用します。

社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、保育への関心・意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、保育への関心・意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、文章や資料の読解力、分析力、記述・表現力や独創性等を評価します。面接では、保育への関心・意欲、コミュニケーション能力等、保育・教育・福祉に関する専門性を習得する上での適性を総合的に評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容及び成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	◎		
	面接	○	◎	◎
学校推薦型選抜 （一般推薦）	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	◎		◎
総合型選抜 （自己推薦）	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	◎		◎
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	◎		
帰国生特別選抜	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	◎		
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	小論文	○	◎	
	面接	○	◎	◎
	書類審査	○		

文化情報学科のアドミッションポリシー

1. [知識・技能]

- 他者とコミュニケーションするために必要される国語と英語の基礎的な技能を有している人

2. [思考力・判断力・表現力]

- 短期大学で主体的に考えを進めてゆくために必要な思考力・判断力・表現力を有している人

3. [主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- 日本と海外諸地域における文化と社会に関する様々な事象に対して興味・関心を有している人
- 地域が抱える社会的・文化的諸課題を共感をもって理解し、その解決に向けて地域の多様な人びとと協働する意欲と態度を有している人

教育内容・特色

文化情報学科では、文化について学ぶことを通して課題を設定し、解決に向けて主体的に関わる態度をもった人材を育成します。

文化情報学科の教育内容の特色は次のとおりです。

1. 情報についての基礎的技能を学ぶ
2. 日本語で思考・判断・表現する力を学ぶ
3. 島根、日本および世界の文化に関する知識を学ぶ
4. 国際的な言語と文化について学ぶ
5. 地域の課題への関わり方を学ぶ

選抜の基本方針

一般選抜

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テストでは、国語と英語の基礎的な学力、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。なお、面接試験の資料として調査書及び志願理由書の提出を求めます。

学校推薦型選抜（一般推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、知識・技能、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学業、人物、能力・適性等を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても活用します。

総合型選抜（自己推薦）

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、知識・技能、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。書類審査は調査書及び志願理由書を対象とし、高等学校での学業、人物、能力・適性等を評価します。なお、調査書及び志願理由書は面接試験の資料としても活用します。

社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、知識・技能、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容および成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査を総合して行います。小論文では、知識・技能、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容および成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文、面接、書類審査を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を有しているかを評価します。小論文では、知識・技能、および思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、思考力・判断力・表現力、および文化と社会に対する興味・関心・意欲を評価します。書類審査は成績証明書を対象とし、最終学校における学習内容および成績を評価します。なお、面接試験の資料として志願理由書の提出を求めます。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

入試区分	選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	◎	○	
	面接		○	◎
学校推薦型選抜 (一般推薦)	小論文	◎	◎	
	面接		○	◎
	書類審査	◎		
総合型選抜 (自己推薦)	小論文	◎	◎	
	面接		○	◎
	書類審査	◎		
社会人・学士 特別選抜	小論文	◎	◎	
	面接		○	◎
	書類審査	◎		
帰国生特別選抜	小論文	◎	◎	
	面接		○	◎
	書類審査	◎		
私費外国人留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	小論文	◎	◎	
	面接		○	◎
	書類審査	◎		

I 募集人員

コース	募集人員 計	募集人員			
		一般選抜		学校推薦型 選抜	総合型選抜
		前期日程	後期日程	一般推薦	自己推薦
国際関係コース	45 名	25 名	5 名	5 名	10 名
国際コミュニケーションコース	45 名	25 名	5 名	-	15 名

II 入学者選抜試験実施内容

1 一般選抜（前期日程・後期日程）

1. 募集人員

国際関係コース	前期日程	25 名
	後期日程	5 名
	計	30 名
国際コミュニケーションコース	前期日程	25 名
	後期日程	5 名
	計	30 名

2. 出願資格

本学に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和 8 年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験している者としてします。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 8 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※なお、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行いますので、次の区分により、入学資格認定申請書を提出してください。

- ① 大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受けようとする場合
令和 7 年 8 月 22 日（金）まで（締切日必着）
- ② ①以外の場合
令和 8 年 1 月 16 日（金）まで（締切日必着）

3. 選抜方法

国際関係コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（小論文）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら可否を決定します。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（面接）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら可否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験（面接）のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。

（1）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			備考
前期日程	国語			・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目または2科目 （「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注2）	から 2科目	3教科 4科目 または 4教科 4科目	・3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用（注1）
	数学から1科目（「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」）			
	理科から1科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）			
	情報から1科目（「情報Ⅰ」）			
	外国語から1科目 （「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」）			・100点満点に換算
後期日程	国語	から 1科目	2教科 2科目	・2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用（注1） ・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注2）			
	数学から1科目（「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」）			
	理科から1科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）			
	情報から1科目（「情報Ⅰ」）			
	外国語から1科目 （「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」）			・100点満点に換算

（注1）各受験生の令和8年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

（注2）地理歴史・公民で、2科目を選択する場合には、次の組み合わせを選択することはできません。

- ①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ
- ②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において 2 科目を受験した場合の科目の選択方法は、下記の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	第 1、2 解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。
	<理 科>	第 1 解答科目のみを高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科>	第 1 解答科目のみを最高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)

(2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	小論文により、国際関係コースでの専門性を修得する上で必要となる国際関係への関心について自ら論を立てて記述させ、主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。参考資料として調査書を活用します。
後期日程	面接により、問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。参考資料として調査書を活用します。

(3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト							個別試験	合計
	国語	地理歴史 ・ 公民	数学	理科	情報	外国語 ※			
前期日程	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	小論文	600 点
	配点 400 点							配点 200 点	
後期日程	[100]	[100]	[100]	[100]	[100]	100		面接	400 点
	配点 200 点							配点 200 点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から 2 科目、[] は、1 科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の合計得点を 100 点満点に換算した点を用います。

P42「4. 出願期間」へ続く

国際コミュニケーションコース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（小論文）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（面接）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験（面接）のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（１）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和８年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			備考
前期日程	国語			
	地理歴史・公民から１科目または２科目 （「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」）（注２）	から ２科目	３教科 ４科目 または ４教科 ４科目	・３科目以上受験した場合は、高得点の２科目を合否判定に利用（注１）
	数学から１科目（「数学Ⅰ、数学Ａ」、「数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ」）			
	理科から１科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）			
	情報から１科目（「情報Ⅰ」）			
	外国語から１科目 （「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」）			
後期日程	国語			
	地理歴史・公民から１科目（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合／歴史総合／公共」）（注２）	から １科目	３教科 ３科目	・２科目以上受験した場合は、最高得点の１科目を合否判定に利用（注１）
	数学から１科目（「数学Ⅰ、数学Ａ」、「数学Ⅱ、数学Ｂ、数学Ｃ」）			
	理科から１科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）			
	情報から１科目（「情報Ⅰ」）			
	外国語（「英語」）			

（注１） 各受験生の令和８年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の２科目、後期日程においては最高得点の１科目を本学が選択します。

（注２） 地理歴史・公民で、２科目を選択する場合には、次の組み合わせを選択することはできません。

①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ

②「地理総合／歴史総合／公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において２科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	第 1、2 解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。
	<理 科>	第 1 解答科目のみを高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科>	第 1 解答科目のみを最高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)

(2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	日本語と英語による小論文を課し、日本語による思考力・表現力と英語による表現力に加えて、国際コミュニケーションコースで学ぶ上での関心や主体性を評価します。参考資料として調査書を活用します。
後期日程	面接により、国際コミュニケーションコースでの学びに対する理解や意欲、自己表現力など、本コースで学ぶ上での適性を評価します。参考資料として調査書を活用します。

(3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト							個別試験	合計
	国語	地理歴史 ・ 公民	数学	理科	情報	外国語 ※			
前期日程	200	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	200	小論文 (日本語・英語)	800 点
	配点 600 点							配点 200 点	
後期日程	200	[100]	[100]	[100]	[100]	[100]	200	面接	800 点
	配点 500 点							配点 300 点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から 2 科目、[] は、1 科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング (100 点満点) とリスニング (100 点満点) の合計得点を用います。

4. 出願期間

令和 8 年 1 月 26 日 (月) から令和 8 年 2 月 4 日 (水) まで

郵送する場合は、2 月 4 日 (水) までの消印有効とします。

5. 個別試験期日

前期日程：令和 8 年 2 月 25 日 (水)

後期日程：令和 8 年 3 月 12 日 (木) 又は令和 8 年 3 月 13 日 (金) のいずれか 1 日

6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス (島根県浜田市野原町 2433-2)

前期日程のみ、広島市内に別途会場を設置する予定です。

7. 合格発表

前期日程：令和8年3月5日（木）

後期日程：令和8年3月20日（金・祝）

8. 入学手続期間

前期日程：令和8年3月6日（金）から令和8年3月13日（金）まで（締切日必着）

後期日程：令和8年3月21日（土）から令和8年3月27日（金）まで（締切日必着）

9. 追加合格及び2次募集

募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格及び2次募集を行うことがあります。

2 学校推薦型選抜（一般推薦）

1. 募集人員

国際関係コース 5 名

2. 出願資格

学校推薦型選抜（一般推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者としします。

- （１）島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和８年３月卒業見込みの者、島根県内において通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者
- （２）人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- （３）合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- （４）調査書において「全体の学習成績の状況」が３.５以上である者

なお、１校あたりの推薦枠数は１名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ１校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ１校として扱います。

3. 選抜の方法

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（２）試験の実施内容・評価

小論文	主体的な探究心、協働性・多様性への理解、表現力・思考力を総合的に評価します。
個別面接	問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。参考資料として提出書類（※）を活用します。

（※）学校長等の推薦書、調査書及び志願者本人が記載する資料（総合的な探究の時間の成果物等、志願理由書、大学での学修計画書）

（３）試験の配点

試験内容		合計
小論文	個別面接	
配点 100 点	配点 100 点	200 点

4. 出願期間

令和７年１１月１日（土）から令和７年１１月６日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

小論文 令和7年11月15日（土）

個別面接 令和7年11月15日（土）又は令和7年11月16日（日）のいずれか1日

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和7年12月1日（月）

8. 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から令和7年12月8日（月）まで（締切日必着）

9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

3 総合型選抜（自己推薦）

1. 募集人員

国際関係コース	10 名
国際コミュニケーションコース	15 名

2. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 令和 6 年 3 月から令和 8 年 3 月までに高等学校、中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、同期間に通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和 8 年 3 月修了見込みの者
- (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 【国際関係コース】調査書における「全体の学習成績の状況」は出願条件としません。
【国際コミュニケーションコース】調査書において「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上であり、かつ「各教科の学習成績の状況」における「外国語」及び「国語」がいずれも 3.8 以上である者

3. 選抜の方法

国際関係コース

(1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

(2) 試験の実施内容・評価

小論文	高等学校教育課程の基礎学力と、文章読解力及び社会への問題関心や理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。
個別面接	問題関心、理解力・判断力、国際関係コースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。参考資料として提出書類（※）を活用します。

（※）調査書及び志願者本人が記載する資料（志願理由書、大学での学修計画書）

(3) 試験の配点

試験内容		合計
小論文	個別面接	
配点 100 点	配点 100 点	200 点

P47「4. 出願期間」へ続く

国際コミュニケーションコース

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（２）試験の実施内容・評価

小論文	高等学校教育課程の基礎学力、英語の運用能力、理解力、論理的な思考力・表現力を評価します。
個別面接	問題関心、理解力・判断力・表現力、国際コミュニケーションコースで学ぶ適性、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

（３）試験の配点

試験内容		合計
小論文（英語）	個別面接	
配点 200 点	配点 100 点	300 点

4. 出願期間

令和 7 年 9 月 25 日（木）から令和 7 年 9 月 30 日（火）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

小論文 令和 7 年 10 月 18 日（土）

個別面接 令和 7 年 10 月 18 日（土）又は令和 7 年 10 月 19 日（日）のいずれか 1 日

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和 7 年 11 月 1 日（土）

8. 入学手続期間

令和 7 年 11 月 2 日（日）から令和 7 年 11 月 7 日（金）まで（締切日必着）

9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

I 募集人員

コース	募集人員 計	募集人員				
		一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜
		前期日程	後期日程	一般推薦	しまね高大 連携推薦	自己推薦
経済経営・デジタル マネジメントコース	45 名	20 名	5 名	10 名	-	10 名
地域公共コース	45 名	25 名	10 名	10 名	-	-
地域づくりコース	50 名	15 名	5 名	-	20 名	10 名

II 入学者選抜試験実施内容

1 一般選抜（前期日程・後期日程）

1. 募集人員

経済経営・デジタルマネジメントコース	前期日程	20 名
	後期日程	5 名
	計	25 名
地域公共コース	前期日程	25 名
	後期日程	10 名
	計	35 名
地域づくりコース	前期日程	15 名
	後期日程	5 名
	計	20 名

2. 出願資格

本学に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和8年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験している者としてします。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行いますので、次の区分により、入学資格認定申請書を提出してください。

- ① 大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受けようとする場合
令和7年8月22日（金）まで（締切日必着）
- ② ①以外の場合
令和8年1月16日（金）まで（締切日必着）

3. 選抜方法

経済経営・デジタルマネジメントコース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち15名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。
(1次選考) 次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細はP57を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（面接）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験（面接）のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります

(1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
前期日程	国語		・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目または2科目 〔「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」〕（注2）	から 2科目	3教科 4科目 または 4教科 4科目 ・3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を合否判定に利用（注1）
	数学から1科目〔「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」〕		
	理科から1科目〔「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」〕		
	情報から1科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・100点満点に換算
後期日程	国語		・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目〔「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」〕（注2）	から 1科目	3教科 3科目 ・2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用（注1）
	数学から1科目〔「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」〕		
	理科から1科目〔「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」〕		
	情報から1科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・100点満点に換算

（注1）各受験生の令和8年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

（注2）地理歴史・公民で、2科目を選択する場合には、次の組み合わせを選択することはできません。

- ①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ
- ②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	第 1、2 解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。
	<理 科>	第 1 解答科目のみを高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科>	第 1 解答科目のみを最高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)

(2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2 次選考対象者のみ書類審査（活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。参考資料として調査書を活用します。
後期日程	面接により、経済経営・デジタルマネジメントコースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書を活用します。

(3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト							個別試験	合計
	国語	地理歴史 ・ 公民	数学	理科	情報	外国語 ※			
前期日程 (1 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	—	400 点
	配点 400 点								
前期日程 (2 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420 点
	配点 400 点							配点 20 点	
後期日程	100	[100]	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	500 点
	配点 300 点							配点 200 点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から 2 科目、[] は、1 科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点を 100 点満点に換算した点を用います。

(4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、志願者本人が作成する書類（活動報告書）によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。参考資料として、高校が作成する書類（調査書に限る）を活用します。（調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。）活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は 2 次選考対象者のみとします。（活動報告書の提出がない場合、2 次選考における書類審査での加点は行いません。）

活動例を次頁に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な探究の時間における取組」
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P57「地域政策学部各コース共通」へ続く

地域公共コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち 20 名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。
（1 次選考）次に残りの合格者として想定する者の 2 倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。（2 次選考）※詳細は P57 を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（面接）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験（面接）のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（1）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和 8 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
前期日程	国語	から 2 科目	・ 100 点満点に換算
	地理歴史・公民から 1 科目または 2 科目 （「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注 2）		・ 3 科目以上受験した場合は、高得点の 2 科目を合否判定に利用（注 1）
	数学から 1 科目（「数学Ⅰ、数学 A」、「数学Ⅱ」、「数学 B、数学 C」）		
	理科から 1 科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）		
	情報から 1 科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・ 100 点満点に換算
後期日程	国語	から 1 科目	・ 100 点満点に換算
	地理歴史・公民から 1 科目（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注 2）		・ 2 科目以上受験した場合は、最高得点の 1 科目を合否判定に利用（注 1）
	数学から 1 科目（「数学Ⅰ、数学 A」、「数学Ⅱ」、「数学 B、数学 C」）		
	理科から 1 科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）		
	情報から 1 科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・ 100 点満点に換算

（注 1）各受験生の令和 8 年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の 2 科目、後期日程においては最高得点の 1 科目を本学が選択します。

（注 2）地理歴史・公民で、2 科目を選択する場合においては、次の組み合わせを選択することはできません。

①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ

②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において 2 科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	第 1、2 解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。
	<理 科>	第 1 解答科目のみを高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科>	第 1 解答科目のみを最高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)

(2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2 次選考対象者のみ書類審査（活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。参考資料として調査書を活用します。
後期日程	面接試験により、地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

(3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト							個別試験	合計
	国語	地理歴史 ・ 公民		数学	理科	情報	外国語 ※		
前期日程 (1 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	—	400 点
	配点 400 点								
前期日程 (2 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420 点
	配点 400 点							配点 20 点	
後期日程	100	[100]		[100]	[100]	[100]	100	面接	400 点
	配点 300 点							配点 100 点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から 2 科目、[] は、1 科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点を 100 点満点に換算した点を用います。

(4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、志願者本人が作成する書類（活動報告書）によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。参考資料として、高校が作成する書類（調査書に限る）を活用します。（調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。）活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は 2 次選考対象者のみとします。（活動報告書の提出がない場合、2 次選考における書類審査での加点は行いません。）

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な探究の時間における取組」
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P57「地域政策学部各コース共通」へ続く

地域づくりコース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち 10 名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。
（1 次選考）次に残りの合格者として想定する者の 2 倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。（2 次選考）※詳細は P57 を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験（面接）の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験（面接）のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（１）大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和 8 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
前期日程	国語		・ 100 点満点に換算
	地理歴史・公民から 1 科目または 2 科目 （「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注 2）	から 2 科目	・ 3 科目以上受験した場合は、高得点の 2 科目を合否判定に利用（注 1）
	数学から 1 科目（「数学Ⅰ、数学 A」、「数学Ⅱ」、「数学 B、数学 C」）		
	理科から 1 科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）		
	情報から 1 科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・ 100 点満点に換算
後期日程	国語		・ 100 点満点に換算
	地理歴史・公民から 1 科目（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注 2）	から 1 科目	・ 2 科目以上受験した場合は、最高得点の 1 科目を合否判定に利用（注 1）
	数学から 1 科目（「数学Ⅰ、数学 A」、「数学Ⅱ」、「数学 B、数学 C」）		
	理科から 1 科目（「物理」「化学」「地学」「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）		
	情報から 1 科目（「情報Ⅰ」）		
	外国語（「英語」）		・ 100 点満点に換算

（注 1）各受験生の令和 8 年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の 2 科目、後期日程においては最高得点の 1 科目を本学が選択します。

（注 2）地理歴史・公民で、2 科目を選択する場合においては、次の組み合わせを選択することはできません。

①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ

②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において 2 科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	第 1、2 解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。
	<理 科>	第 1 解答科目のみを高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科>	第 1 解答科目のみを最高得点の 1 科目の選択対象とします。 (第 2 解答科目は選択対象としません。)

(2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2 次選考対象者のみ書類審査（活動報告書）により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。参考資料として調査書を活用します。
後期日程	面接試験により、地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

(3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト							個別試験	合計
	国語	地理歴史 ・ 公民		数学	理科	情報	外国語 ※		
前期日程 (1 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400 点
	配点 400 点								
前期日程 (2 次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420 点
	配点 400 点							配点 20 点	
後期日程	100	[100]		[100]	[100]	[100]	100	面接	500 点
	配点 300 点							配点 200 点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から 2 科目、[] は、1 科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点を 100 点満点に換算した点を用います。

(4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、志願者本人が作成する書類（活動報告書）によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。参考資料として、高校が作成する書類（調査書に限る）を活用します。（調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。）活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

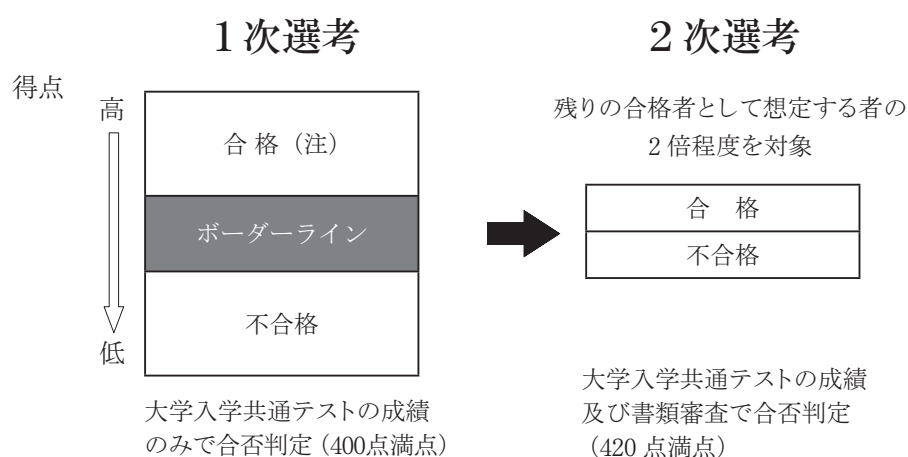
なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は 2 次選考対象者のみとします。（活動報告書の提出がない場合、2 次選考における書類審査での加点は行いません。）

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な探究の時間における取組」
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

地域政策学部・地域政策学科 各コース共通

「1次選考」「2次選考」について



（注）1次選考合格者数

経済経営・デジタルマネジメントコース	15名程度
地域公共コース	20名程度
地域づくりコース	10名程度

仮に経済経営・デジタルマネジメントコースにおける最終合格者を計20名と想定する場合

例1. 大学入学共通テストの成績が8位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで合格決定（1次選考）

例2. 大学入学共通テストの成績が17位だった者

→残りの合格者として想定する者（20名 - 15名 = 5名）の2倍程度（=10名）である、16位～25位の者を2次選考対象として大学入学共通テストの成績及び書類審査で合格を判定

例3. 大学入学共通テストの成績が30位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで不合格（1次選考）

4. 出願期間

令和8年1月26日（月）から令和8年2月4日（水）まで
郵送する場合は、2月4日（水）まで の消印有効とします。

5. 個別試験期日

前期日程：実施しない

後期日程：令和8年3月12日（木）又は令和8年3月13日（金）のいずれか1日

6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

前期日程：令和8年3月5日（木）

後期日程：令和8年3月20日（金・祝）

8. 入学手続期間

前期日程：令和8年3月6日（金）から令和8年3月13日（金）まで（締切日必着）

後期日程：令和8年3月21日（土）から令和8年3月27日（金）まで（締切日必着）

9. 追加合格及び2次募集

募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格及び2次募集を行うことがあります。

2 学校推薦型選抜（一般推薦）

1. 募集人員

経済経営・デジタルマネジメントコース	10 名
地域公共コース	10 名

2. 出願資格

学校推薦型選抜（一般推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者としします。

- （１）島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和８年３月卒業見込みの者、島根県内において通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者
- （２）人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- （３）合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- （４）調査書において「全体の学習成績の状況」が、3.5 以上の者

なお、１校あたりの推薦枠数は各コース２名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ１校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ１校として扱います。

3. 選抜の方法

経済経営・デジタルマネジメントコース

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（２）試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、経済経営・デジタルマネジメントコースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	経済経営・デジタルマネジメントコースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

（３）試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200 点	配点 200 点	400 点

P61「4. 出願期間」へ続く

地域公共コース

(1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、大学入学共通テスト及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

(2) 個別試験の実施内容・評価

個別面接	地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。
------	---

(3) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

令和8年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			備考
国語			・100点満点に換算
地理歴史・公民から1科目（「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」）（注2）	から 1科目	2教科 2科目	・2科目以上受験した場合は、最高得点の1科目を合否判定に利用（注1） ・外国語（「英語」）は100点満点に換算
数学から1科目（「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ、数学B、数学C」）			
理科から1科目（「物理」、「化学」、「地学」、「生物」、「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」）			
情報から1科目（「情報Ⅰ」）			
外国語（「英語」）			

（注1）各受験生の令和8年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、最高得点の1科目を本学が選択します。

（注2）地理歴史・公民で、2科目を選択する場合には、次の組み合わせを選択することはできません。

①「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせ

②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

なお、地理歴史・公民並びに理科の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目のみを最高得点の1科目として選択対象とします。（第2解答科目は選択対象としません。）

(4) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

大学入学共通テスト						個別試験	合計
国語	地理歴史・ 公民	数学	理科	情報	外国語 ※	個別面接	
100	[100]	[100]	[100]	[100]	[100]	配点 200 点	400 点
配点 200 点							

（注）表中の〔 〕は、同種類の括弧の中から1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

4. 出願期間

令和7年11月1日（土）から令和7年11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

総合問題（経済経営・デジタルマネジメントコースのみ）令和7年11月15日（土）

個別面接 令和7年11月15日（土）又は令和7年11月16日（日）のいずれか1日

6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

（1）経済経営・デジタルマネジメントコース

令和7年12月1日（月）

（2）地域公共コース

令和8年2月9日（月）

8. 入学手続期間

（1）経済経営・デジタルマネジメントコース

令和7年12月2日（火）から令和7年12月8日（月）まで（締切日必着）

（2）地域公共コース

令和8年2月10日（火）から令和8年2月16日（月）まで（締切日必着）

9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。（経済経営・デジタルマネジメントコースのみ）

3 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）

1. 募集人員

地域づくりコース 20名

2. 出願資格

学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者としします。

- （1）島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和8年3月卒業見込みの者、島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者
- （2）人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- （3）高校生活の中で、在籍する高等学校等からの支援を受けながら、地域づくりに関わる取り組みを行ってきた者、もしくは現在行っている者

- （４）合格した場合には必ず入学することを確約できる者
 - （５）調査書において「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者
- なお、１校あたりの推薦枠数は２名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ１校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ１校として扱います。

3. 選抜の方法

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。参考資料として活動報告書を活用します。

（２）試験の実施内容・評価

プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として活動報告書を活用します。
-------------------	--

（３）試験の配点

試験内容		合計
プレゼンテーション	個別面接	
配点 100 点	配点 100 点	200 点

4. 出願期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から令和 7 年 11 月 6 日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

令和 7 年 11 月 15 日（土）又は令和 7 年 11 月 16 日（日）のいずれか 1 日

6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和 7 年 12 月 1 日（月）

8. 入学手続期間

令和 7 年 12 月 2 日（火）から令和 7 年 12 月 8 日（月）まで（締切日必着）

9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

4 総合型選抜（自己推薦）

1. 募集人員

経済経営・デジタルマネジメントコース	10 名
地域づくりコース	10 名

2. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- （1）令和 6 年 3 月から令和 8 年 3 月までに高等学校、中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、同期間に通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和 8 年 3 月修了見込みの者
- （2）合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- （3）【経済経営・デジタルマネジメントコース】調査書において「全体の学習成績の状況」が 3.5 以上の者
【地域づくりコース】調査書における「全体の学習成績の状況」は出題条件としません。
- （4）【地域づくりコースのみ】高等学校在学中に、主体的に活動を行ったことがある者。具体的には、高等学校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPO や高校生起業家などの学外活動において、個人または集団の中で、自分の役割をはっきりと認識した上で積極的に取り組んだ経験のある者。ただし既卒者については、高等学校卒業後の活動も可とします。

3. 選抜の方法

経済経営・デジタルマネジメントコース

（1）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（2）個別試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、経済経営・デジタルマネジメントコースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	経済経営・デジタルマネジメントコースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

（3）試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200 点	配点 200 点	400 点

「4. 出願期間」へ続く

地域づくりコース

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文、プレゼンテーション及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、それぞれ総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

（２）試験の実施内容・評価

小論文	基礎学力を評価します。
プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として活動報告書を活用します。

（３）試験の配点

試験内容			合計
小論文	プレゼンテーション	個別面接	
配点 100 点	配点 100 点	配点 100 点	300 点

4. 出願期間

令和 7 年 9 月 25 日（木）から令和 7 年 9 月 30 日（火）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

総合問題・小論文 令和 7 年 10 月 18 日（土）

個別面接 令和 7 年 10 月 18 日（土）又は令和 7 年 10 月 19 日（日）のいずれか 1 日

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和 7 年 11 月 1 日（土）

8. 入学手続期間

令和 7 年 11 月 2 日（日）から令和 7 年 11 月 7 日（金）まで（締切日必着）

9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

【国際関係学部・地域政策学部】共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する
特別選抜における「選抜の基本方針」

選抜の基本方針

■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する ○：重視する】

①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

1 社会人特別選抜

1. 募集人員

各コース 若干名

2. 出願資格

令和8年3月31日までに社会人としての経験を5年以上有する者で、23歳以上に達するものであって、次の各号のいずれかに該当する者とします。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経験期間に含めません。

- (1) 高等学校、中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行います。

令和7年9月26日（金）（必着）までに、入学資格認定申請書を提出してください。

3. 選抜方法

(1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

(2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配 点	合 計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100 点	200 点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100 点	

4. 出願期間

令和7年11月1日（土）から令和7年11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

令和7年11月15日（土）

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和7年12月1日（月）

8. 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から令和7年12月8日（月）まで（締切日必着）

2 帰国生特別選抜

1. 募集人員

各コース 若干名

2. 出願資格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、またはその他これらに準ずる者で、保護者の海外勤務等によりやむを得ず外国の学校教育を受けているものであって、かつ、次の各号のいずれかに該当する者としします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和6年4月1日から令和8年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
 - (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校等の第3学年に編入学を認められた者で、令和8年3月卒業（修了）見込みの者
 - (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を令和6年又は令和7年に授与された者
 - (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を令和6年又は令和7年に授与された者
 - (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を令和6年又は令和7年に授与された者
 - (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるGCE A レベル資格又は国際 A レベル資格を有する者
 - (7) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
 - (8) 国際的な認証団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者
- (注) (1) 及び (2) において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した場合、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

3. 選抜方法

(1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

(2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配 点	合 計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100 点	200 点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100 点	

4. 出願期間

令和7年11月1日（土）から令和7年11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

令和7年11月15日（土）

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和7年12月1日（月）

8. 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から令和7年12月8日（月）まで（締切日必着）

3 私費外国人留学生特別選抜

1. 募集人員

各コース 若干名

2. 出願資格

日本国籍を有しない者であって、次の各号のすべてに該当する者とします。

- （1）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2025年日本留学試験」の第1回（6月実施分）において、次の指定科目を受験した者、または、第2回（11月実施分）に出願し、次の指定科目を受験する者

＜出題言語＞ 日本語とする。

＜受験指定科目＞ ア 日本語（記述を含む）

イ 総合科目

ウ 数学（「コース1」とする。）

- （2）出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、又は本学入学により有することとなる者

- （3）次のいずれかに該当する者

- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- ③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を授与された者

- ④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を授与された者
- ⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められる GCE A レベル資格又は国際 A レベル資格を有する者
- ⑥欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を有する者
- ⑦国際的な認証団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者

3. 選抜方法

（１）選抜方法

大学入学共通テストを課さず、日本留学試験、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、可否を決定します。

なお、日本留学試験、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。

（２）試験の実施内容及び配点

試験の内容	指定科目又は着眼点	配点	合計
日本留学試験	日本語	50 点	300 点
	総合科目	30 点	
	数学（コース 1 とする。）	20 点	
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100 点	
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100 点	

4. 出願期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から令和 7 年 11 月 6 日（木）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日

令和 7 年 11 月 15 日（土）

6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

7. 合格発表

令和 8 年 1 月 22 日（木）

8. 入学手続期間

令和 8 年 1 月 23 日（金）から令和 8 年 2 月 20 日（金）まで（締切日必着）

障がい等のある入学志願者の事前相談

身体に障がいがあり、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ本学学務課アドミッション室と協議してください。

ア) 協議の方法

本学が指定する協議書に、医師の診断書または身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。

イ) 協議書の提出期限（締切日必着）

総合型選抜	令和7年 9月12日（金）
学校推薦型選抜	令和7年10月17日（金）
一般選抜	令和8年 1月16日（金）

ウ) 必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身高等学校等関係者との面談等を行います。

<連絡先・協議先>

〒697-0016

島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学浜田キャンパス 学務課アドミッション室

(TEL) 0855-24-2203

試験日に関わる注意事項

地震や台風等の不測の事態が発生し、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は、試験日を以下の日程に延期します。延期する場合は、本学公式ホームページで告知しますので、適宜確認するようにしてください。延期日に受験しなかった場合は欠席とみなし、入学検定料は返還しません。

1. 試験期日

総合型選抜	令和7年11月1日（土）・11月2日（日）
学校推薦型選抜	令和7年11月22日（土）・11月23日（日・祝）
特別選抜	令和7年11月22日（土）

2. 合格発表

総合型選抜	令和7年11月17日（月）
学校推薦型選抜（地域公共コースを除く）	令和7年12月8日（月）
学校推薦型選抜（地域公共コース）	変更なし
特別選抜（社会人・帰国生）	令和7年12月8日（月）
特別選抜（私費外国人留学生）	変更なし

3. 入学手続期間

総合型選抜	令和7年11月18日（火）から令和7年11月25日（火）まで（締切日必着）
学校推薦型選抜（地域公共コースを除く）及び特別選抜（社会人・帰国生）	令和7年12月9日（火）から令和7年12月15日（月）まで（締切日必着）

I 募集人員

各選抜方法における求める力（評価する力）

学科	入学定員	募集人員									
		一般選抜		学校推薦型選抜				総合型選抜	社会人・学士特別選抜	帰国生特別選抜	私費外国人留学生特別選
		一般選抜 (注 1)	一般選抜 (島根県地域枠)	一般推薦 (注 2)	しまね高大連携推薦						
					指定校推薦	専門高校・総合学科枠					
看護学科	80名	22名	12名	28名	4名以内	4名以内	10名	3名以内	1名以内	1名以内	

(注 1) 「一般選抜」の募集人員には、「社会人・学士特別選抜」「帰国生特別選抜」及び「私費外国人留学生特別選抜」の募集人員を含む。

(注 2) 「学校推薦型選抜（指定校推薦）」及び「学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）」で欠員が生じた場合は、「学校推薦型選抜（一般推薦）」で補充します。

看護栄養学部 健康栄養学科

学科	入学定員	募集人員								
		一般選抜		学校推薦型選抜			総合型選抜	社会人・学士特別選抜	帰国生特別選抜	私費外国人留学生特別選
		一般選抜 (注 1)	一般選抜 (島根県地域枠)	一般推薦 (注 2)	しまね高大連携推薦					
					専門高校・総合学科枠					
健康栄養学科	40名	13名	6名	13名	3名以内		5名	1名以内	1名以内	1名以内

(注 1) 「一般選抜」の募集人員には、「社会人・学士特別選抜」「帰国生特別選抜」及び「私費外国人留学生特別選抜」の募集人員を含む。

(注 2) 「学校推薦型選抜（専門高校・総合学科枠）」で欠員が生じた場合は、「学校推薦型選抜（一般推薦）」で補充します。

II 入学者選抜試験実施内容

看護栄養学部

1 一般選抜

1. 募集人員

【看護学科】	22名 ※注 1
	12名（島根県地域枠）※注 2
【健康栄養学科】	13名 ※注 1
	6名（島根県地域枠）※注 2

※注 1) 募集人員には、社会人・学士特別選抜、帰国生特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

※注 2) 看護学科では厳しい看護師不足への対応、健康栄養学科では地域課題を食から解決することを目指し、島根県における将来の専門職リーダーを育成するために設置している区分です。なお、一般選抜と一般選抜（島根県 地域枠）との併願はできません。

（２）出願要件

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和８年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が定める教科・科目のすべてを受験した者としてします。

- １）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者
 - ２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和８年３月に修了見込みの者
 - ３）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和８年３月３１日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④文部科学大臣の指定した者（昭和２３年５月３１日文部省告示第４７号）
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和８年３月３１日までに年齢満１８歳に達する者
- *なお、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定（本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認める場合）による出願については、事前に入学資格の審査を行います。下記期限（必着）までに入学資格認定申請書を提出してください。入学資格認定申請書は、島根県立大学出雲キャンパス学務課 教務・入試係（TEL：0853-20-0232）へ電話連絡の上、請求してください。
- 大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受けようとする場合
令和７年９月４日（木）まで（必着）
- 上記以外の場合
令和８年１月８日（木）まで（必着）

また看護学科・健康栄養学科の一般選抜（島根県地域枠）に出願する場合は、以下の出願要件の全てを満たす必要があります。

【看護学科・健康栄養学科】

- ・島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を卒業した者、または令和８年３月に卒業見込みの者

【看護学科】

- ・本学を卒業後、島根県内で看護職として就業することを希望する者

(3) 選抜方法等

①選抜方法

【看護学科】※島根県地域枠を含む

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			個別試験
教科	科目選択方法		
国語	「国語」(注 1)		面接 (注 3)
数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学 C」から 1 科目を選択		
外国語	「英語」(注 2)		
理科	「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」から 2 つを選択。又は「物理」「化学」「生物」「地学」のいずれか 1 科目を選択	から高得点の 1 科目を本学 が利用します。 (注 5)	
地理歴史・ 公民	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」から 1 科目を選択 (注 4)		
情報	「情報Ⅰ」		

【健康栄養学科】※島根県地域枠を含む

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			個別試験
教科	科目選択方法		
国語	「国語」(注 1)		面接 (注 3)
数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」のいずれか1科目を選択		
理科	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』のうち「化学基礎」「生物基礎」の2つ、又は「化学」「生物」のいずれか1科目を選択		
外国語	「英語」(注 2)	から高得点の1科目を本学が利用します。 (注 5)	
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」、「地理総合 / 歴史総合 / 公共」から1科目を選択 (注 4)		
情報	「情報Ⅰ」		

(注 1)「国語」について、古文・漢文を含む「国語」を受験科目とします。

(注 2)「英語」について、リスニングを含みます。

(注 3) 調査書を評価の参考とします。

(注 4)「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合においては、次の組み合わせを選択することはできません。

①「公共・倫理」と「公共，政治・経済」の組み合わせ

②「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

(注 5) なお、「地理歴史・公民」並びに「理科」の試験時間において、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。2科目を受験した場合、第1，2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。

学科	大学入学共通テスト						個別試験	合 計
	国語	数学	理科	外国語	地理歴史・ 公民	情報	面接	
看護学科	100	100	{100}	100	{100}	{100}	100	500
健康栄養 学科	100	100	100	{100}	{100}	{100}	100	500

※大学入学共通テストは、「国語（200 点満点）」の得点を 100 点満点に、「外国語（英語）（リーディング 100 点満点、リスニング 100 点満点の計 200 点満点）」の得点を 100 点満点に換算して利用します。
 ※表中の { } は、同種類の括弧の中から 1 科目を選択することを表します。

（４）出願期間

令和 8 年 1 月 26 日（月）から 2 月 4 日（水）まで（消印有効）

（５）試験期日（個別試験）

令和 8 年 2 月 25 日（水）又は 2 月 26 日（木）のいずれか 1 日
 ※面接の実施日は大学の指定した日となります。

（６）試験会場（個別試験）

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町 1 5 1 番地）

（７）合格発表

令和 8 年 3 月 5 日（木）

（８）入学手続期間

令和 8 年 3 月 6 日（金）から 3 月 13 日（金）まで（最終日必着）

（９）追加合格

一般選抜の合格者の入学手続完了後、入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加合格を行うことがあります。

2 学校推薦型選抜（一般推薦）

1. 募集人員

【看護学科】	28 名
【健康栄養学科】	13 名

2) 出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者となります。

出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
島根県内の高等学校及び特別支援学校高等部を令和8年3月卒業見込みの者	次のすべてに該当する者であること ア【看護学科】人物・学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について在学学校長が責任をもって推薦できる者 【健康栄養学科】人物・学業成績ともに優秀で、栄養学に対する適性について在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の全体の学習成績の状況が 看護学科 4.0、健康栄養学科 3.8 以上の者

(3) 推薦枠

一般推薦へ推薦できる人数は、上記の高等学校を対象とし、下記のとおりとします。

【看護学科・健康栄養学科】 1校あたりの推薦定員枠なし

この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

(4) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、大学入学共通テストと面接の評価を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を判定することがあります。

また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

【看護学科】

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			個別試験
教科	科目選択方法		
国語	「国語」(注 1)		面接 (注 3)
外国語	「英語」(注 2)		
数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から1科目を選択	から高得点の1科目を本学が利用します。 (注 5)	
理科	「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」から2つを選択。又は「物理」「化学」「生物」「地学」のいずれか1科目を選択		
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」、「歴史総合，日本史探究」、「歴史総合，世界史探究」、「公共，倫理」、「公共，政治・経済」、 [地理総合 / 歴史総合 / 公共] から1科目を選択 (注 4)		
情報	「情報Ⅰ」		

【健康栄養学科】

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目			個別試験
教科	科目選択方法		
国語	「国語」(注 1)		面接 (注 3)
理科	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』のうち「化学基礎」「生物基礎」の2つ、又は「化学」「生物」のいずれか1科目を選択		
数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から1科目を選択	から高得点の1科目を本学が利用します。 (注 5)	
外国語	「英語」(注 2)		
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，「地理総合 / 歴史総合 / 公共」から1科目を選択 (注 4)		
情報	「情報Ⅰ」		

(注 1) 「国語」について、古文・漢文を含む「国語」を受験科目とします。

(注 2) 「英語」について、リスニングを含みます。

(注 3) 調査書を評価の参考とします。

(注 4) 「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合においては、次の組み合わせを選択することはできません。

① 「公共・倫理」と「公共，政治・経済」の組み合わせ

② 「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組み合わせ

(注 5) なお、「地理歴史・公民」並びに「理科」の試験時間において、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。2科目を受験した場合、第1，2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。

②配点

学科	大学入学共通テスト						個別試験	合計
	国語	数学	理科	外国語	地理歴史・公民	情報	面接	
看護学科	100	{100}	{100}	100	{100}	{100}	200	500
健康栄養学科	100	{100}	100	{100}	{100}	{100}	200	500

※大学入学共通テストは、「国語(200点満点)」の得点を100点満点に、「外国語(英語)(リーディング100点満点、リスニング100点満点の計200点満点)」の得点を100点満点に換算して利用します。

※表中の{ }は、同種類の括弧の中から1科目を選択することを表します。

(5) 出願期間

令和7年11月1日(土)から11月6日(木)まで(消印有効)

(6) 試験期日(個別試験)

令和7年11月22日(土)又は11月23日(日・祝)のいずれか1日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

(7) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス(島根県出雲市西林木町151番地)

(8) 合格発表

令和8年2月10日(火)

(9) 入学手続期間

令和8年2月11日(水・祝)から2月18日(水)まで(最終日必着)

3 学校推薦型選抜(しまね高大連携推薦/指定校推薦)

1. 募集人員

【看護学科】 4名以内

2) 出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者となります。

【指定校推薦】※看護学科のみ

出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
本学が指定する高等学校を令和8年3月に卒業見込みである者 ※指定する高等学校は別途本学より通知します。	次のすべてに該当する者であること ア 人物・学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 ウ 卒業後に指定する地域に看護職として就業することを誓約できる者

(3) 推薦枠

しまね高大連携推薦(指定校推薦)へ推薦できる人数は、上記の高等学校を対象とし、下記のとおりとなります。

【看護学科】 1校1名以内

この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

(4) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、高等学校在学中のポートフォリオ、小論文や面接の評価を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を判定することがあります。

また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

高等学校在学中の ポートフォリオ	小論文	面接 (口頭試問を含む)	合計
100	100	100	300

③高等学校在学中のポートフォリオについて

本学指定の様式により作成し、出願手続き時に提出していただきます。

(5) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（消印有効）

(6) 試験期日

＜小論文＞ 令和7年11月22日（土）

＜面接＞ 令和7年11月22日（土）又は11月23日（日・祝）のいずれか1日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

(7) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(8) 合格発表

令和7年12月1日（月）

(9) 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から12月8日（月）まで（最終日必着）

(10) 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求めます。
また合格者については、合格発表後の連携活動を含む入学前教育への参加を求めます。

4 学校推薦型選抜（しまね高大連携推薦 / 専門高校・総合学科枠）

1. 募集人員

【看護学科】 4名以内

【健康栄養学科】 3名以内

2) 出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

【専門高校・総合学科枠】

出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
島根県内の高等学校の総合学科もしくは職業学科を令和8年3月卒業見込みの者 （職業学科について、出願できる学科とは、「職業教育を主とする学科」をいう。普通科、英語科、理数科等、職業教育が主でない学科の卒業見込みの者は該当しない）	次のすべてに該当する者であること ア 【看護学科】 人物・学業成績ともに優秀で、看護学に対する適性について在学学校長が責任をもって推薦できる者 【健康栄養学科】 人物・学業成績ともに優秀で、栄養学に対する適性について在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者

(3) 推薦枠

推薦できる人数は、上記の高等学校を対象とし、1校2名以内とします。

職業学科を有する高等学校であっても、そのうち「職業教育を主としない学科」の在籍生徒は対象外とします。

(4) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行いますが、小論文又は面接いずれかの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

小論文	面接	合 計
1 0 0	1 0 0	2 0 0

(5) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（消印有効）

(6) 試験期日

＜小論文＞ 令和7年11月22日（土）

＜面 接＞ 令和7年11月22日（土）又は11月23日（日・祝）のいずれか1日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

(7) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(8) 合格発表

令和7年12月1日（月）

(9) 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から12月8日（月）まで（最終日必着）

(10) 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求めます。
また合格者については、合格発表後の連携活動を含む入学前教育への参加を求めます。

4 総合型選抜

1. 募集人員

【看護学科】 10名

【健康栄養学科】 5名

2) 出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
高等学校及び特別支援学校高等部を令和8年3月卒業見込みの者、または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者	次のすべてに該当する者であること ア 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 イ 高等学校在学中に、優れた活動実績を有する者

(3) 選抜方法等

①選抜方法

1次試験として書類選考を実施し、2次試験に参加できる者を選抜します。

※1次試験は書類選考のため、来学の必要はありません。

1次試験通過者のみ、2次試験（レポート、面接）を実施します。

合格者の決定は、書類選考、レポート、面接の評価を総合して行いますが、レポート又は面接いずれかの評価が著しく低い場合は、総合点の順位に関わらず合否を判定することがあります。

また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

書類選考	レポート	面接	合計
100	100	100	300

(4) 書類選考について

出願手続き時に提出していただく以下の書類により、選考を行います。

①志願理由書 ②高等学校の活動実績書 ③将来計画書 ④調査書

(5) レポートについて

複数の課題文等と共にレポートのテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。

(6) 出願期間

令和7年9月12日（金）から9月18日（木）まで（消印有効）

(7) 試験期日（2次試験）

＜レポート＞ 令和7年10月18日（土）

＜面接＞ 令和7年10月18日（土）又は10月19日（日）のいずれか1日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

(8) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(9) 合格発表

＜一次試験合格発表＞ 令和7年10月10日（金）

＜最終合格発表＞ 令和7年11月1日（土）

(10) 入学手続期間

令和7年11月2日（日）から11月7日（金）まで（最終日必着）

(11) 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求めます。

5 社会人・学士特別選抜

1. 募集人員

【看護学科】 3名以内

【健康栄養学科】 1名以内

2) 出願要件

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

1) 高等学校、中等教育学校を卒業した者

または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者

2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

4) 4年制大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者

1)～3)においては、令和8年4月1日現在、年齢満23歳に達し、社会人経験を5年以上有することが必要です。（定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人経験に含みません。）

*なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定（本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認める場合）による出願については、事前に入学資格の審査を行います。令和7年10月1日（水）まで（必着）に入学資格認定申請書を提出してください。入学資格認定申請書は、島根県立大学出雲キャンパス学務課 教務・入試係（Tel：0853-20-0232）へ電話連絡の上、請求してください。

(3) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接を総合して行いますが、小論文又は面接いずれかの評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

【看護学科】

小論文	面接	合計
300	300	600

【健康栄養学科】

小論文	面接（口頭試問含む）	合計
300	300	600

（４）出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（消印有効）

（５）試験期日

＜小論文＞ 令和7年11月22日（土）

＜面接＞ 令和7年11月22日（土）又は11月23日（日・祝）のいずれか1日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

（６）試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

（７）合格発表

令和7年12月1日（月）

（８）入学手続期間

令和7年12月2日（火）から12月8日（月）まで（最終日必着）

（９）入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求める場合があります。

6 帰国生特別選抜

1. 募集人員

【看護学科】 1名以内

【健康栄養学科】 1名以内

2) 出願要件

日本国籍を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、令和8年4月1日現在、年齢満23歳未満の者で次の各号のいずれかに該当するものとします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を卒業（修了）した者、又は令和8年3月31日までに卒業（修了）見込みの者
ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けている者に限る。
なお、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程に在籍した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなさない。

- 2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズから又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者

（３）選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接を総合して行いますが、小論文又は面接いずれかの評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

【看護学科】

小論文	面接	合計
300	300	600

【健康栄養学科】

小論文	面接（口頭試問含む）	合計
300	300	600

（４）出願期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から 11 月 6 日（木）まで（消印有効）

（５）試験期日

＜小論文＞ 令和 7 年 11 月 22 日（土）

＜面接＞ 令和 7 年 11 月 22 日（土）又は 11 月 23 日（日・祝）のいずれか 1 日

※面接の実施日は大学の指定した日となります。

(6) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(7) 合格発表

令和7年12月1日（月）

(8) 入学手続期間

令和7年12月2日（火）から12月8日（月）まで（最終日必着）

(9) 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求める場合があります。

7 私費外国人留学生特別選抜

1. 募集人員

【看護学科】 1名以内

【健康栄養学科】 1名以内

2) 出願要件

日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「令和7年度日本留学試験（6月又は11月実施の試験）」を受験し、かつ、出入国管理及び難民認定法別表第一の四に定める在留資格「留学」を有する者、又は取得できる見込みの者のうち、次のいずれかに該当するものとします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドン主たる事務所が存在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インター

ナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者

(3) 選抜方法等

①選抜方法

【看護学科】

合格者の決定は、面接（出題言語は日本語）、日本留学試験〔受験指定科目は日本語、数学（コース1）、理科（物理、化学、生物から2科目を自由選択）〕を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

【健康栄養学科】

合格者の決定は、面接（出題言語は日本語）、日本留学試験〔受験指定科目は日本語、数学（コース1）、理科（化学、生物の2科目）〕を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

学科	面接	日本留学試験	合計
看護学科	400	200	600
健康栄養学科	400	200	600

(4) 出願期間

令和8年1月6日（火）から1月9日（金）まで（最終日必着）

(5) 試験期日

令和8年1月21日（水）

(6) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(7) 合格発表

令和8年1月30日（金）

(8) 入学手続期間

令和8年1月31日（土）から2月6日（金）まで（最終日必着）

(9) 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備や、課題提出を求める場合があります。

I 募集人員

別科助産学専攻〈一般選抜（島根選抜、一般選抜）、推薦型選抜（学校推薦、学内推薦）〉

専攻	修業年限	入学定員	募集人員	
助産学専攻（注1）	1年	12名	一般選抜（一般選抜）	3名（注2）
			一般選抜（島根選抜）	3名（注2）
			推薦型選抜（学校推薦）	3名以内
			推薦型選抜（学内推薦）	3名以内

（注1）助産学専攻は、女子に限ります。

（注2）推薦型選抜で欠員が生じた場合には、一般選抜（島根選抜）、一般選抜（一般選抜）の順で補充する。

II 入学者選抜試験実施内容

1 一般選抜（一般選抜）

（1）募集人員

3名

※推薦型選抜で欠員が生じた場合には、一般選抜（島根選抜）、一般選抜（一般選抜）の順で補充する。

（2）出願要件

出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者とします。

- 1）学校教育法第90条第1項の規定する大学入学資格を有する者
- 2）看護師免許を有する者又は入学時において看護師国家試験受験資格を有する者
- 3）女子に限る

（3）選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、学力試験、面接を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

学力試験	面接	合計
母性・小児・基礎看護学分野からの出題		
200	100	300

※ P90「5 共通事項」へ続く

2 一般選抜（島根選抜）

（1）募集人員

3名

※推薦型選抜で欠員が生じた場合には、一般選抜（島根選抜）、一般選抜（一般選抜）の順で欠員補充する。

（2）出願要件

出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者としてします。

- 1) 島根県内高校出身者または島根県内看護師養成施設出身者である者
- 2) 学校教育法第90条第1項の規定する大学入学資格を有する者
- 3) 看護師免許を有する者又は入学時において看護師国家試験受験資格を有する者
- 4) 女子に限る

（3）選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、学力試験、面接を総合して行いますが、面接の評価が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

学力試験	面接	合計
母性・小児・基礎看護学分野からの出題		
200	100	300

※ P90「5 共通事項」へ続く

3 推薦型選抜（学校推薦）

（1）募集人員

3名以内

（2）出願要件

出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者とし、入学することを確約できる者としてします。

- 1) 島根県内看護師養成施設（本学除く）出身者である者
- 2) 学校教育法第90条第1項の規定する大学入学資格を有する者
- 3) 看護師免許を有する者又は入学時において看護師国家試験受験資格を有する者
- 4) 修了後島根県内で助産師として就職する意思を有する者
- 5) 1校1名以内
- 6) 女子に限る

(3) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、面接で行います。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

面接	合計
100	100

※ P90「5 共通事項」へ続く

4 推薦型選抜（学内推薦）

(1) 募集人員

3名以内

(2) 出願要件

出願できる者は、次の各号のすべてに該当する者とし、入学することを確認できる者としてします。

- 1) 令和8年3月島根県立大学看護栄養学部看護学科卒業見込みの者で、学部長が推薦する者
- 2) 島根県立大学看護栄養学部看護学科3年次秋学期までの累積 GPA が 2.20 以上の者
- 3) 修了後島根県内で助産師として就職する意思を有する者
- 4) 女子に限る

(3) 選抜方法等

①選抜方法

合格者の決定は、面接で行います。また、面接試験では、提出された書類も参考とします。

②配点

面接	合計
100	100

※ P90「5 共通事項」へ続く

5 共通事項

(1) 併願について

出願要件を満たせば、以下の組み合わせで併願することができます。また、2つもしくは1つだけの入試区分の出願も可能です。併願時の入学検定料は別途必要となります。

		一般選抜		推薦型選抜	
		一般選抜	島根選抜	学校推薦	学内推薦
一般選抜	一般選抜		○	○	○
	島根選抜	○		○	○
推薦型選抜	学校推薦	○	○		×
	学内推薦	○	○	×	

※推薦型選抜（学校推薦）と推薦型選抜（学内推薦）は併願できません。

(2) 併願時の合否判定について

「推薦型選抜（学校推薦）」あるいは「推薦型選抜（学内推薦）」、「一般選抜（島根選抜）」、「一般選抜（一般選抜）」の順で合否判定を行います。

(3) 出願期間

令和7年8月25日（月）から9月5日（金）まで（最終日必着）

(4) 試験期日

令和7年9月27日（土）

(5) 試験会場

島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町151番地）

(6) 合格発表

令和7年10月3日（金）

(7) 入学手続期間

令和7年10月4日（土）から10月10日（金）まで（最終日必着）

Ⅲ 障がいのある入試志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験上及び修学上配慮が必要な場合は、以下により事前相談をしてください。

1 相談の方法

相談書に医師の診断書又は身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。相談書提出後、本学出雲キャンパスにおいて、志願者又はその立場を代弁し得る在学学校関係者等との面談等（場合によっては電話での聞き取りなど）を行います。

なお、相談書は次の事項を記載した文書（様式は定めない）とし、原則として在学学校等を経由して提出するものとします。

- (1) 入学志願者氏名、フリガナ、性別
- (2) 志望学科、選抜区分（日程）
- (3) 障がいの種類、程度
- (4) 受験上配慮を希望する事項
- (5) 修学上配慮を希望する事項
- (6) 在学（出身）学校でとられていた配慮
- (7) 日常生活の状況

2 相談書の提出期限（必着）

(1) 看護栄養学部

①総合型選抜の場合

令和7年9月5日（金）

②学推薦型選抜、社会人・学士特別選抜、帰国生特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の場合

令和7年10月1日（水）

③一般選抜の場合

令和8年1月23日（金）

(2) 別科助産学専攻

令和7年7月25日（金）

3 相談書の提出先

島根県立大学出雲キャンパス 学務課 教務・入試係
〒693-8550 島根県出雲市西林木町151番地

Ⅳ 入試関係事項についての照会先

島根県立大学出雲キャンパス 学務課 教務・入試係
〒693-8550 島根県出雲市西林木町151番地
TEL 0853-20-0232
FAX 0853-20-0201
URL <https://izumo.u-shimane.ac.jp>

なお、問い合わせの受付や対応を行う時間は平日9時～17時です。
土・日曜日、祝祭日、お盆、年末年始の受付・対応は行っておりません。

I 募集人員

学科	入学定員	募集人員						
		一般選抜 ＜注1＞	学校推薦 型選抜 ＜注2＞	総合型選抜 ＜注3＞＜注4＞ ＜注5＞		社会人・学士 特別選抜	帰国生 特別選抜	私費外国人 留学生 特別選抜
				自己推薦				
				前期	一般推薦			
保育教育 学科	40 名	20 名	15 名	-	5 名	1 名以内	1 名以内	1 名以内
地域文化 学科	70 名	37 名	18 名	15 名	(3 名)	1 名以内	1 名以内	1 名以内

注1 「一般選抜（前期）」の募集人員には、「社会人・学士特別選抜」、「帰国生特別選抜」及び「私費外国人留学生特別選抜」の募集人員を含みます。

注2 「学校推薦型選抜」へ推薦できる人数は、各学科、島根県内高等学校等から各校1名とします。

注3 地域文化学科の「自己推薦」の募集人員（15名）には、地域教員希望枠の募集人員（3名）を含みます。

注4 「総合型選抜」の「地域教員希望枠」への出願は、以下のいずれかに該当する者のみとします。

（ア）島根県内高等学校等の出身の者

（イ）入学する日の1年以上前から引き続いて島根県の区域内に住所を有する者

注5 地域文化学科の「総合型選抜」における「地域教員希望枠」について、合格とならなかった場合、「自己推薦」の選抜対象となります。詳細はP.102をご覧ください。

II 入学者選抜試験実施内容

1 一般選抜（前期日程）

（1）募集人員

保育教育学科 20名

地域文化学科 37名

計 57名

（注）募集人員（保育教育学科、地域文化学科）には、社会人・学士特別選抜、帰国生特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

（2）出願要件

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和8年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が定める教科・科目をすべて受験した者としてします。

1）高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者

2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者

3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- ③専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- ④文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑥本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに年齢満18歳に達するもの

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定（本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認める場合）による出願については、事前に入学者の審査を行います。下記期限（必着）までに入学資格認定試験申請書を提出してください。申請書様式は、島根県立大学松江キャンパスホームページ（<https://www.u-shimane.ac.jp/admission/matsue/>）からダウンロードできます。【提出期限：令和7年8月29日（金）まで（必着）】

（3）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は大学入学共通テスト、面接を総合して行います。大学入学共通テスト及び学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

なお、地域文化学科については、大学入学共通テスト・面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

【保育教育学科】

大学入学共通テスト			学力検査等	備考
教科	科目別選択方法			
国語	「国語」	必須	面接〈注6〉	面接資料として、「調査書」及び「志願理由書」の提出を求める
外国語	「英語」〈注1〉			
数 学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から1科目〈注2〉			
理 科	「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から1科目〈注3〉	1科目〈注5〉		
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」から1科目〈注4〉			
情 報	「情報Ⅰ」			

注1 「英語」について、リスニングを含みます。

注2 「数学」について、2科目受験している場合は高得点の1科目を利用します。

注3 「理科」について、2科目受験している場合は第1解答科目※を利用します。

注4 「地理歴史・公民」について、2科目受験している場合は第1解答科目※を利用します。

注5 「理科」「地理歴史・公民」「情報」の中から高得点の1科目を利用します。

注6 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

※「理科」「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。

【地域文化学科】

大学入学共通テスト			学力検査等	備考
教科	科目別選択方法			
国語	「国語」	必須	面接〈注6〉	面接資料として、「調査書」及び「志願理由書」の提出を求める
外国語	「英語」〈注1〉			
数 学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」から1科目〈注2〉	3科目 〈注5〉		
理 科	「物理」「化学」「生物」「地学」「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から1科目〈注3〉			
地理歴史・公民	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」から1科目または2科目〈注4〉			
情 報	「情報Ⅰ」			

- 注1 「英語」について、リスニングを含みます。
- 注2 「数学」について、2科目受験している場合は高得点の1科目を利用します。
- 注3 「理科」について、2科目受験している場合は第1解答科目※を利用します。
- 注4 2科目を受験した場合、第1、2解答科目※に関係なく、両科目を選択対象とします。
また2科目を選択する場合においては、次の組み合わせを選択することはできません。
- ①「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組み合わせ
 - ②「地理総合／歴史総合／公共」を選択した場合は、選択回答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せ
- 注5 「数学」「理科」「地理歴史・公民」「情報」の中から高得点の3科目を利用します。
- 注6 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。
- ※「理科」「地理歴史・公民」の試験時間に2科目を受験する場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」と呼びます。

②配点

【保育教育学科】

大学入学共通テスト						学力検査等	合計
国語	外国語	数学	理科	地歴・公民	情報	面接	
200点	200点	100点	100点（1科目）			150点	750点

【地域文化学科】

大学入学共通テスト						学力検査等	合計
国語	外国語	数学	理科	地歴・公民	情報	面接	
150点	150点	150点（3科目）				150点	600点

備考1 大学入学共通テストは、「国語」200点満点を150点満点、「外国語（英語）」（リーディング100点、リスニング100点）200点満点を150点満点に換算します。「数学」「理科」「地歴・公民」「情報」の中から高得点の3科目を利用し、各科目100点満点を50点満点に換算します。

（4）出願期間

令和8年1月26日（月）から2月4日（水）まで（締切日当日消印有効）

（５）学力検査等の期日

学科	種別	試験日〈注〉
保育教育学科	前期日程	令和８年２月２５日（水）又は ２月２６日（木）のいずれか１日
地域文化学科		

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、ホームページにて措置内容をお知らせします。

（６）学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木７丁目２４番地２号）

（７）合格発表

学科	種別	合格発表
保育教育学科	前期日程	令和８年３月４日（水）
地域文化学科		

（８）入学手続期間

学科	種別	入学手続期間
保育教育学科	前期日程	令和８年３月５日（木）から ３月１１日（水）まで（必着）
地域文化学科		

（９）追加合格及び二次募集

一般選抜（前期日程）の合格者の入学手続完了後、入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、次のとおり追加合格及び二次募集を行うことがあります。

①追加合格

追加合格を実施する場合、本学が定める期間に受験者本人に対して連絡を行います。

追加合格の対象者への入学意思の確認（入学願書に記載してある連絡先に電話連絡）は、追加合格連絡開始日以降の午前８時３０分から正午の間に行います。連絡が取れない場合は、１時間後に再度連絡を行います。それでも連絡が取れない場合は、入学意思がないものとみなして、次点の候補者への連絡を行います。

受験者本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合、上記のとおり入学意思がないものとして取扱うこととなりますので、この期間に外出する場合は、必ず家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。

②二次募集

二次募集については、募集の実施を決定次第、本学のホームページ等を通じて詳細な内容をお知らせします。

ホームページアドレス <https://www.u-shimane.ac.jp/>

2 学校推薦型選抜（一般推薦）

（１）募集人員

保育教育学科	15 名
地域文化学科	18 名
計	33 名

（２）出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

学科	出題要件Ⅰ	出題要件Ⅱ
保育教育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和８年３月卒業見込みの者 イ 島根県内において通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	次のすべてに該当する者であること ア 人物・学業成績ともに優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の「全体の学習成績の状況」が３.８以上の者
地域文化学科		次のすべてに該当する者であること ア 人物・学業成績ともに優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の「全体の学習成績の状況」が３.５以上の者

（３）推薦枠

推薦できる人数は、各学科、島根県内の各学校から１名とします。この場合、本校、分校はそれぞれ１校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ１校として扱います。

（４）選抜方法と配点

①選抜方法

【保育教育学科】

小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査（調査書及び志願理由書）により選考を行い、可否を判定します。学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ可否判定の対象にはなりません

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接〈注１・２・３〉	調査書 志願理由書	「調査書」及び「志願理由書」は個別面接の資料としても活用します

注１ 面接には、プレゼンテーションの要素も含まれます。

注２ プレゼンテーションは、保育・教育・福祉に関連するテーマについて実施し、質疑応答を含みます。

注３ 個別面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

【地域文化学科】

小論文、面接、書類審査（調査書及び受験者本人が作成する活動報告書）により選考を行い、可否を判定します。学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ可否判定の対象にはなりません。

なお、小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接（注1）	調査書 活動報告書	「調査書」「活動報告書」は個別面接の資料としても活用します 個別面接の資料として、「志願理由書」の提出を求めます

注1 面接では、調査書、活動報告書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

②配点

【保育教育学科】

学力検査等		書類審査		合計
小論文	面接 (プレゼンテーションの要素を含む)	調査書	志願理由書	
250 点	250 点	50 点	50 点	600 点

【地域文化学科】

学力検査等		書類審査		合計
小論文	面接	調査書	活動報告書	
150 点	200 点	75 点	75 点	500 点

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育教育学科】

保育教育学科がアドミッションポリシーで示す「保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力」「多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝える」力及び「保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲」を評価するために、書類審査では高校が作成する調査書及び志願者本人が作成する志願理由書を活用して採点します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）、及びそれを踏まえた将来の展望と学習意欲を評価します。

調査書に関する活動例や志願理由書に関する事項などを以下に示しますので、参考にしてください。

なお、調査書が発行できていない者については、資格・検定試験の証明書（原本）を提出していただきます。

《調査書に関する事項》

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等]

例：役員履歴、取り組みの過程や成果等

[取得資格・検定等]

例：優れた技術・能力を示す資格や技術・能力検定等（各種英語民間試験、漢字検定、ピアノ・電子オルガン等の鍵盤楽器技能、その他

[その他]

例：その他の実績及び活動

《志願理由書に関する事項》

これまでの取り組みから学んだこと、保育教育学科への入学を志望する理由、入学後及び卒業後に考えている進路や展望

【地域文化学科】

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために、調査書及び志願者本人が作成する活動報告書を活用します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

活動例を以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

《調査書に関する事項》

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

《活動報告書に関する事項》

学校の内外での意欲的に取り組んだ活動（学習・部活動・生徒会・委員会・学校行事・地域活動・海外関連活動・資格検定・その他）を1つ選んで記述します。

（5）出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

（6）学力検査等の期日

試験日〈注〉	
小論文	面接
令和7年11月22日（土）	令和7年11月22日（土）又は 11月23日（日）のいずれか1日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年12月6日（土）及び令和7年12月7日（日）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（7）学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番地2号）

（8）合格発表

令和7年12月5日（金）

（9）入学手続期間

令和7年12月6日（土）から12月12日（金）まで（必着）

3 総合型選抜

i. 自己推薦

（１）募集人員

地域文化学科 15 名
計 15 名

（注）募集人員には「地域教員希望枠」の募集人員（３名）を含みます。

（２）出願要件

出願できる者は、次の出願要件に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者とします。

出願要件
次のいずれかに該当する者であること。 ア 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者 イ 通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者

（３）選抜方法と配点

①選抜方法

- ・小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査（調査書及び受験者本人が作成する活動報告書）により選考を行い、可否を判定します。
- ・学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ可否判定の対象にはなりません。
- ・小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接〈注１・２・３〉	調査書 活動報告書	「調査書」「活動報告書」は個別面接の資料としても活用します 個別面接の資料として、「志願理由書」の提出を求めます

注１ 面接について、プレゼンテーションの要素を含めます。

注２ プレゼンテーションは、高校３年間で熱心に取り組んだことを A4 用紙 1 枚（片面）にまとめ、発表して頂きます。内容及び用紙の使い方は自由です。

注３ 面接では、調査書、活動報告書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

②配点

学力検査等		書類審査		合計
小論文	面接	調査書	活動報告書	
150 点	250 点	50 点	50 点	500 点

③書類審査の評価項目及び記載例について

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、調査書及び志願者本人の作成する活動報告書を活用します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

調査書に関する活動例などを以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

《調査書に関する事項》

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

《活動報告書に関する事項》

学校の内外での意欲的に取り組んだ活動（学習・部活動・生徒会・委員会・学校行事・地域活動・海外関連活動・資格検定・その他）を1つ選んで記述します。

(4) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

(5) 学力検査等の期日

試験日〈注〉	
小論文	面接
令和7年11月22日（土）	令和7年11月22日（土）又は 11月23日（日）のいずれか1日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年12月6日（土）及び令和7年12月7日（日）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番地2号）

(7) 合格発表

令和7年12月5日（金）

(8) 入学手続期間

令和7年12月6日（土）から12月12日（金）まで（必着）

ii. 地域教員希望枠

（１）募集人員

保育教育学科	5 名
地域文化学科	3 名
計	8 名

（注）島根県内の教員不足への対応と、将来島根県の教育を牽引する若手教員の中核となる人材を養成するため、導入している区分です。

（２）出願要件

出願できる者は、本学を卒業後、島根県内で教員として就業することを強く希望する者で、次の出願要件に該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としします。

【島根県内の高校の出身者】

	出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
保育教育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和８年３月卒業見込みの者 イ 島根県内の通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	調査書の「全体の学習成績の状況」が３.８以上の者
地域文化学科		調査書の「全体の学習成績の状況」が３.５以上の者

【島根県外の高校の出身者】

	出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ	出願要件Ⅲ
保育教育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 高等学校を令和８年３月卒業見込みの者 イ 通常の課程による１２年の学校教育を令和８年３月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を令和８年３月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	調査書の「全体の学習成績の状況」が３.８以上の者	入学する日の１年以上前から引き続いて島根県の区域内に住所を有する者（注）
地域文化学科		調査書の「全体の学習成績の状況」が３.８以上の者	

注 出願時に住民票の提出が必要となります。

３）選抜方法と配点

① 選抜方法

【保育教育学科】

- ・小論文、面接、書類審査（調査書及び志願理由書）により選考を行い、可否を判定します。
学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ可否判定の対象にはなりません。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接（注１・２）	調査書 志願理由書	「調査書」及び「志願理由書」は個別面接の資料としても活用します

注１ 面接では、教育に関する事柄についての口頭試問も行います。

注２ 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

【地域文化学科】

- ・小論文、面接（プレゼンテーションの要素を含む）、書類審査（調査書及び受験者本人が作成する活動報告書）により選考を行い、可否を判定します。
- ・学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ可否判定の対象にはなりません。
- ・小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず可否を判定することがあります。
- ・地域教員希望枠の判定で合格とならなかった場合、総合型選抜（自己推薦）の選抜対象となります。その際、「地域教員希望枠志願理由書」に基づく面接内容については評価対象としません。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接〈注１・２・３〉	調査書 活動報告書	「調査書」「活動報告書」は個別面接の資料としても活用します 個別面接の資料として、「志願理由書」と「地域教員希望枠志願理由書」の提出を求めます

注１ 面接について、プレゼンテーションの要素を含めます。

注２ プレゼンテーションは、高校３年間で熱心に取り組んだことを A4 用紙１枚（片面）にまとめ、発表して頂きます。内容及び用紙の使い方は自由です。

注３ 面接では、調査書、活動報告書、志願理由書、地域教員希望枠志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

②配点

【保育教育学科】

学力検査等		書類審査		合計
小論文	面接	調査書	志願理由書	
180 点	270 点	50 点	100 点	600 点

【地域文化学科】

学力検査等		書類審査		合計
小論文	面接	調査書	活動報告書	
150 点	300 点	50 点	50 点	550 点

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育教育学科】

保育教育学科がアドミッションポリシーで示す「保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力」「多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝える」力及び「保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲」を評価するために、書類審査では高校が作成する調査書及び志願者本人が作成する志願理由書を活用して採点します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）、及びそれを踏まえた将来の展望と学習意欲を評価します。

調査書に関する活動例や志願理由書に関する事項などを以下に示しますので、参考にしてください。

なお、調査書が発行できていない者については、資格・検定試験の証明書（原本）を提出していただきます。

《調査書に関する事項》

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等]

例：役員履歴、取り組みの過程や成果等

[取得資格・検定等]

例：優れた技術・能力を示す資格や技術・能力検定等（各種英語民間試験、漢字検定、ピアノ・電子オルガン等の鍵盤楽器技能、その他）

[その他]

例：その他の実績及び活動

《志願理由書に関する事項》

これまでの取り組みから学校教育の現状と課題について学んだこと、入学後及び卒業後に考えている島根県の教員としての展望、それらを踏まえた保育教育学科への入学を志望する理由

【地域文化学科】

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、調査書及び志願者本人の作成する活動報告書を活用します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

調査書に関する活動例などを以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

《調査書に関する事項》

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

《活動報告書に関する事項》

学校の内外での意欲的に取り組んだ活動（学習・部活動・生徒会・委員会・学校行事・地域活動・海外関連活動・資格検定・その他）を1つ選んで記述します。

（4）出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

（5）学力検査等の期日

試験日〈注〉	
小論文	面接
令和7年11月22日（土）	令和7年11月22日（土）又は 11月23日（日）のいずれか1日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年12月6日（土）及び令和7年12月7日（日）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（6）学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番地2号）

（7）合格発表

令和7年12月5日（金）

（8）入学手続期間

令和7年12月6日（土）から12月12日（金）まで（必着）

4 社会人・学士特別選抜

(1) 募集人員

保育教育学科	1名以内
地域文化学科	1名以内

(2) 出願要件

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- 4) 4年制大学を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者

1)～3)においては、令和8年4月1日現在、年齢満23歳に達し、社会人経験を5年以上有することが必要です。（定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人経験に含みません。）

注 なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定（本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認める場合）による出願については、事前に入学資格の審査を行います。令和7年8月29日（金）（必着）までに、入学資格認定申請書を提出してください。申請書様式は島根県立大学松江キャンパスホームページ（<https://www.u-shimane.ac.jp/admission/matsue/>）からダウンロードできます。

(3) 選抜方法と配点

① 選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接及び成績証明書を総合して行います。面接資料として、「志願理由書」の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

なお、地域文化学科においては、小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

② 配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	成績証明書〈注〉	
保育教育学科	180点	300点	120点	600点
地域文化学科	150点	180点	20点	350点

注 成績証明書は、最終学歴のものとしてします。成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとしてします。

③ 書類審査の評価項目及び記載例について

【保育教育学科】

保育教育学科がアドミッションポリシーで示す「保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力」を、主に評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高等学校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

（成績証明書が提出できない場合は「学習計画書」を活用し、文章構成力、大学での学びや活動に対する意欲、本大学への入学後および卒業後の進路に関する計画性と意欲等の視点より評価します。）

【地域文化学科】

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

活動例を以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

（４）出願期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から 11 月 6 日（木）まで（締切日当日消印有効）

（５）学力検査等の期日

令和 7 年 11 月 22 日（土）〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和 7 年 12 月 6 日（土）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（６）学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木 7 丁目 24 番地 2 号）

（７）合格発表

令和 7 年 12 月 5 日（金）

（８）入学手続期間

令和 7 年 12 月 6 日（土）から 12 月 12 日（金）まで（必着）

5 帰国生特別選抜

(1) 募集人員

保育教育学科	1名以内
地域文化学科	1名以内

(2) 出願要件

出願できる者は、日本国籍を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受け令和8年4月1日現在、年齢満23歳未満の者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を卒業（修了）した者又は令和8年3月31日までに卒業（修了）見込みの者。
ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けている者に限る。
なお、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程に在籍した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなさない。
- 2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が存在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

(3) 選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接及び成績証明書を総合して行います。面接資料として、「志願理由書」の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

なお、地域文化学科においては、小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

②配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	成績証明書〈注〉	
保育教育学科	180 点	300 点	120 点	600 点
地域文化学科	150 点	180 点	20 点	350 点

注 成績証明書は、最終学歴のものとしします。

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育教育学科】

保育教育学科がアドミッションポリシーで示す「保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力」を評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高等学校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

【地域文化学科】

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

活動例を以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

(4) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

(5) 学力検査等の期日

令和7年11月22日（土）〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年12月6日（土）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番地2号）

(7) 合格発表

令和7年12月5日（金）

(8) 入学手続期間

令和7年12月6日（土）から12月12日（金）まで（必着）

6 私費外国人留学生特別選抜

(1) 募集人員

保育教育学科	1名以内
地域文化学科	1名以内

(2) 出願要件

出願できる者は、日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「令和6年度日本留学試験」の第2回（令和6年11月実施の試験）又は「令和7年度日本留学試験」の第1回（令和7年6月実施の試験）を受験し、かつ、出入国管理及び難民認定法別表第一の四に定める在留資格「留学」を有する者及び取得できる見込みの者のうち、次のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が存在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

（３）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、日本留学試験〔受験指定科目は日本語（記述を含む）、総合科目、数学（コースⅠ）〕、小論文、面接（出題言語は日本語）及び成績証明書を総合して行います。面接の参考資料として、志願理由書の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

なお、地域文化学科においては、日本留学試験・小論文・面接・書類審査のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

②配点

学科	日本留学試験〈注１〉			学力検査等		書類審査	合計
	日本語 （記述を含む）	総合 科目	数学 （コースⅠ）	小論文	面接	成績証明書 〈注〉	
保育教育学科	120 点	120 点	60 点	180 点	300 点	120 点	900 点
地域文化学科	80 点	80 点	40 点	150 点	200 点	50 点	600 点

注１ 日本留学試験の受験指定科目は、「日本語（記述を含む）」・「総合科目」・「数学（コースⅠ）」を課します。

提出言語は日本語とします。

注２ 成績証明書は、最終学歴のものとしてします。

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育教育学科】

保育教育学科がアドミッションポリシーで示す「保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力」を評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高等学校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

【地域文化学科】

地域文化学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために、書類審査では出身学校が作成する成績証明書を活用して採点します。活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセス（主体性、努力等）も評価します。

活動例を以下に示しますので、記載時の参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

例：地域での課題解決の取り組み、学習成績の状況など

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

例：文化・芸能・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

例：全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

例：国家資格・技能資格など

[その他]

例：通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

(4) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切日当日消印有効）

(5) 学力検査等の期日

令和7年11月22日（土）〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年12月6日（土）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番地2号）

(7) 合格発表

令和7年12月5日（金）

(8) 入学手続期間

令和7年12月6日（土）から12月12日（金）まで（必着）

I 募集人員

学科	入学定員	募集人員					
		一般選抜 <注1>	学校推薦型選抜 <注2>	総合型選抜	社会人（・学士）特別選抜 <注3>	帰国生特別選抜	私費外国人留学生特別選抜
保育学科	40名	10名	20名	10名	1名以内	1名以内	1名以内
文化情報学科	40名	10名	20名	10名	若干名	若干名	1名以内

注1 「一般選抜」の募集人員には、「社会人（・学士）特別選抜」、「帰国生特別選抜」及び「私費外国人留学生特別選抜」の募集人員を含みます。

注2 「学校推薦型選抜」へ推薦できる学校ならびに人数は、下記の通りとします。

学科	推薦できる学校ならびに人数
保育学科	島根県内高等学校等から各校3名以内
文化情報学科	島根県内高等学校等から各校4名以内

注3 保育学科は「社会人・学士特別選抜」、文化情報学科は「社会人特別選抜」とします。

II 入学者選抜試験実施内容

1 一般選抜

(1) 募集人員

保育学科	10名
文化情報学科	10名
計	20名

（注）募集人員には、社会人（・学士）特別選抜、帰国生特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

(2) 出願要件

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和8年度大学入学共通テストの教科・科目のうち、本学が定める教科・科目をすべて受験した者としてします。

- 1) 高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
- 3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち、次の各項目のいずれかに該当する者及び令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月に修了見込みの者
 - ④文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）

- ⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑥本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31 日までに年齢満 18 歳に達する者

※なお、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定（本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認める場合）による出願については、事前に入学資格の審査を行います。下記期限（必着）までに入学資格認定試験申請書を提出してください。申請書様式は、島根県立大学短期大学部松江キャンパスホームページ（<https://www.u-shimane.ac.jp/admission/matsue/>）からダウンロードできます。

ア．大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受ける場合 令和 7 年 8 月 29 日（金）まで（必着）

イ．ア以外の場合 令和 8 年 1 月 16 日（金）まで（必着）

（３）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は大学入学共通テスト、学力検査等を総合して行います。

学力検査等の内容は、面接とします。

大学入学共通テスト及び学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

【保育学科・文化情報学科】

大学入学共通テスト			学力検査等	備考
教科	科目別選択方法			
国語	「国語」	必須	面接〈注2〉	面接資料として、「調査書」及び「志願理由書」の提出を求める
外国語	「英語」〈注1〉			

注 1 「英語」について、リスニングを含みます。

注 2 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

②配点

【保育学科・文化情報学科】

大学入学共通テスト〈注〉		学力検査等	合計
国語	外国語	面接	
100 点	100 点	100 点	300 点

注 大学入学共通テストは、「国語」200 点満点を 100 点満点に、「外国語（英語）」（リーディング 100 点満点、リスニング 100 点満点の計 200 点満点）を 100 点満点に換算します。

（４）出願期間

令和 8 年 1 月 19 日（月）から 1 月 24 日（土）まで（締切当日消印有効）

（５）学力検査等の期日

学科	試験日〈注〉
保育学科・文化情報学科	令和 8 年 1 月 31 日（土）又は 2 月 1 日（日）のいずれか 1 日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、ホームページにて措置内容をお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番2号）

(7) 合格発表

令和8年2月13日（金）

(8) 入学手続期間

令和8年2月14日（土）から2月24日（火）まで（必着）

(9) 追加合格及び二次募集

一般選抜の合格者の入学手続完了後、入学手続完了者が入学定員に満たない場合には、追加合格及び二次募集を行うことがあります。

追加合格を行う場合、以下のとおり受験者本人に対して連絡を行います。

令和8年3月4日（水）以降の午後5時から行います。連絡が取れない場合は、1時間後に再度連絡を行います。それでも連絡が取れない場合は、入学意思がないものとみなして、次点の候補者への連絡を行います。なお、連絡は入学願書に記載してある連絡先に電話で行います。

受験者本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合、上記のとおり入学意思がないものとして取扱うこととなります。この期間に外出する場合は、必ず家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。

2 学校推薦型選抜（一般推薦）

(1) 募集人員

保育学科	20名
文化情報学科	20名
計	40名

(2) 出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

	出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
保育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和8年3月卒業見込みの者 イ 島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	次のすべてに該当する者であること。 ア 人物・学業成績ともに優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者
文化情報学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和8年3月卒業見込みの者 イ 島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	人物・学業成績ともに優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者（学習成績の状況は要件に加えない）

（３）推薦枠

推薦できる学校ならびに人数は、下記の通りとします。

学科	推薦できる学校ならびに人数
保育学科	島根県内高等学校等から各校３名以内
文化情報学科	島根県内高等学校等から各校４名以内

（本校、分校はそれぞれ１校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ１校として扱います）

（４）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査（調査書及び志願理由書）を総合して行います。面接資料として、志願理由書の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接〈注〉	調査書・志願理由書	「調査書」及び「志願理由書」は、面接資料としても活用する

注 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることがらを踏まえて質問します。

②配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	調査書・志願理由書	
保育学科・ 文化情報科	400 点	500 点	100 点	1000 点

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育学科】

書類審査ではアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、調査書及び志願理由書を活用します。

評価項目についての記載例を示します。記載時の参考にしてください。

《調査書・志願理由書に関する事項》

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]（調査書のみ）

学習成績の状況

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

【文化情報学科】

書類審査ではアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、調査書及び志願理由書を活用します。

評価項目についての記載例を示します。記載時の参考にしてください。

《調査書・志願理由書に関する事項》

- [部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]
文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など
- [表彰・顕彰等の記録]
全国レベルでの個人的な成果など
- [取得資格・検定等]
国家資格・技能資格など
- [その他]
通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

（５）出願期間

令和７年１１月１日（土）から１１月６日（木）まで（締切当日消印有効）

（６）学力検査等の期日

試験日〈注〉	
小論文	面接
令和７年１１月１５日（土）	令和７年１１月１５日（土）又は １１月１６日（日）のいずれか１日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和７年１１月２９日（土）及び令和７年１１月３０日（日）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（７）学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（島根県松江市浜乃木７丁目２４番２号）

（８）合格発表

令和７年１１月２８日（金）

（９）入学手続期間

令和７年１１月２９日（土）から１２月５日（金）まで（必着）

３ 総合型選抜（自己推薦）

（１）募集人員

保育学科	１０名
文化情報学科	１０名
計	２０名

（２）出願要件

出願できる者は、次の出願要件Ⅰ及びⅡに該当し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者としてします。

	出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
保育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和8年3月卒業見込みの者 イ 島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	次のすべてに該当する者であること。 ア 人物・学業成績ともに優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者 イ 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
文化情報学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 島根県内の高等学校を令和8年3月卒業見込みの者 イ 島根県内において通常の課程による12年の学校教育を令和8年3月修了見込みの者または文部科学大臣の指定を受けた島根県内の専修学校高等課程の学科を令和8年3月修了見込みの者 例：特別支援学校の高等部を修了した者	

（３）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接、書類審査（調査書及び志願理由書）を総合して行います。面接資料として、志願理由書の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

学力検査等	書類審査	備考
小論文 面接（注）	調査書・志願理由書	「調査書」及び「志願理由書」は、面接資料としても活用する

注 面接では、調査書、志願理由書に書かれていることからを踏まえて質問します。

②配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	調査書・志願理由書	
保育学科・文化情報学科	400点	500点	100点	1000点

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育学科】

書類審査ではアドミッションポリシーで示す「知識・技能」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、調査書及び志願理由書を活用します。

評価項目についての記載例を示します。記載時の参考にしてください。

《調査書・志願理由書に関する事項》

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]（調査書のみ）

学習成績の状況

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

【文化情報学科】

書類審査ではアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、調査書及び志願理由書を活用します。

評価項目についての記載例を示します。記載時の参考にしてください。

《調査書・志願理由書に関する事項》

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

（４）出願期間

令和 7 年 11 月 1 日（土）から 11 月 6 日（木）まで（締切当日消印有効）

（５）学力検査等の期日

試験日〈注〉	
小論文	面接
令和 7 年 11 月 15 日（土）	令和 7 年 11 月 15 日（土）又は 11 月 16 日（日）のいずれか 1 日

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和 7 年 11 月 29 日（土）及び令和 7 年 11 月 30 日（日）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（６）学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（島根県松江市浜乃木 7 丁目 24 番 2 号）

（７）合格発表

令和 7 年 11 月 28 日（金）

（８）入学手続期間

令和 7 年 11 月 29 日（土）から 12 月 5 日（金）まで（必着）

4 社会人・学士特別選抜（保育学科）、 社会人特別選抜（文化情報学科）

（1）募集人員

保育学科	1 名以内
文化情報学科	若干名

（2）出願要件

	出願要件Ⅰ	出願要件Ⅱ
保育学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 ウ 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（注） エ 4 年制大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者	ア～ウにおいては、令和 8 年 4 月 1 日現在、年齢満 23 歳に達し、社会経験が 5 年以上あること。 ただし、定時制・夜間・通信制以外の学校の在学期間は社会経験期間に含まない。
文化情報学科	次のいずれかに該当する者であること。 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者 ウ 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（注）	令和 8 年 4 月 1 日現在、年齢満 23 歳に達し、社会経験が 5 年以上あること。 ただし、定時制・夜間・通信制以外の学校の在学期間は社会経験期間に含まない。

注 学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行います。令和 7 年 8 月 29 日（金）（必着）までに入学資格認定申請書を提出してください。申請書の様式は、島根県立大学短期大学部ホームページ（<https://www.u-shimane.ac.jp/admission/matsue/>）からダウンロードできます。

（3）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接及び成績証明書（成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」）を総合して行います。面接資料として、「志願理由書」の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

②配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	成績証明書（注）	
保育学科・ 文化情報学科	400 点	500 点	100 点	1000 点

注 成績証明書は、最終学歴のものとし、成績証明書が提出できない場合は、「学習計画書」を提出するものとします。

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育学科】

書類審査では保育学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証

明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

（成績証明書が提出できない場合は「学習計画書」を活用し、文章構成力、大学での学びや活動に対する意欲、卒業後の進路に関する計画性と意欲等の視点より評価します。）

【文化情報学科】

書類審査では文化情報学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

（成績証明書が提出できない場合は「学習計画書」を活用し、文章構成力、大学での学びや活動に対する意欲等の視点により評価します。）

（４）出願期間

令和７年１１月１日（土）から１１月６日（木）まで（締切当日消印有効）

（５）学力検査等の期日

令和７年１１月１５日（土）〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和７年１１月２９日（土）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

（６）学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（島根県松江市浜乃木７丁目２４番２号）

（７）合格発表

令和７年１１月２８日（金）

（８）入学手続期間

令和７年１１月２９日（土）から１２月５日（金）まで（必着）

5 帰国生特別選抜

(1) 募集人員

保育学科	1名以内
文化情報学科	若干名

(2) 出願要件

出願できる者は、日本国籍を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、令和8年4月1日現在、年齢満23歳未満の者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を卒業（修了）した者又は令和8年3月31日までに卒業（修了）見込みの者。
ただし、外国において最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けている者に限る。
なお、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程に在籍した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなさない。
- 2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が存在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

(3) 選抜方法と配点

① 選抜方法

合格者の決定は、小論文、面接及び成績証明書を総合して行います。面接資料として、「志願理由書」の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

②配点

学科	学力検査等		書類審査	合計
	小論文	面接	成績証明書（注）	
保育学科・文化情報学科	400 点	500 点	100 点	1000 点

注 成績証明書は、最終学歴のものとなります。

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育学科】

書類審査では保育学科がアドミSSIONポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

【文化情報学科】

書類審査では文化情報学科がアドミSSIONポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

(4) 出願期間

令和7年11月1日（土）から11月6日（木）まで（締切当日消印有効）

(5) 学力検査等の期日

令和7年11月15日（土）〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年11月29日（土）を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。

入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス（島根県松江市浜乃木7丁目24番2号）

(7) 合格発表

令和7年11月28日（金）

(8) 入学手続期間

令和7年11月29日（土）から12月5日（金）まで（必着）

6 私費外国人留学生特別選抜

(1) 募集人員

保育学科	1名以内
文化情報学科	1名以内

(2) 出願要件

出願できる者は、日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「令和6年度日本留学試験」の第2回（令和6年11月実施の試験）又は「令和7年度日本留学試験」の第1回（令和7年6月実施の試験）を受験し、かつ、出入国管理及び難民認定法別表第一の四に定める在留資格「留学」を有する者又は取得できる見込みの者のうち、次のいずれかに該当する者としてします。

- 1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- 3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- 4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- 5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- 6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- 7) アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル、同国ジョージア州に主たる事務所が所在する団体であるコグニア、同国マサチューセッツ州に主たる事務所が所在する団体であるニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ又はオランダ王国南ホラント州に主たる事務所が存在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国ロンドンに主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・ブリティッシュ・インターナショナル・スクールズから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者

（３）選抜方法と配点

①選抜方法

合格者の決定は、日本留学試験〔受験指定科目は日本語（記述を含む）、総合科目〕、小論文、面接（出題言語は日本語）及び成績証明書を総合して行います。面接の参考資料として、志願理由書の提出を求めます。

学力検査等で指定する教科・科目等を全て受験しなければ合否判定の対象にはなりません。

各科目の点数のうち著しく低いものがある場合、不合格とすることがあります。

②配点

学科	日本留学試験〈注１〉		学力検査等		書類審査	合計
	日本語 （記述を含む）	総合科目	小論文	面接	成績証明書 〈注２〉	
保育学科・ 文化情報学科	300 点	200 点	400 点	500 点	100 点	1500 点

注１ 日本留学試験の受験指定科目は、「日本語（記述を含む）」・「総合科目」を課します。提出言語は日本語とします。

注２ 成績証明書は、最終学歴のものとしてします。

③書類審査の評価項目及び記載例について

【保育学科】

書類審査では保育学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組]

最終学歴が高校卒業の場合：学習成績の状況

最終学歴が大学（学士）・短期大学卒業の場合：学業成績指数（GPA）

【文化情報学科】

書類審査では文化情報学科がアドミッションポリシーで示す「知識・技能」を評価するため、成績証明書を活用します。

以下に成績証明書の評価項目についての記載例を示しますので参考にしてください。

[部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等]

文化・芸術・スポーツ活動等の実績及び活動、年単位の長期的ボランティア活動など

[表彰・顕彰等の記録]

全国レベルでの個人的な成果など

[取得資格・検定等]

国家資格・技能資格など

[その他]

通信制生徒の高等学校卒業程度認定試験等による飛び級受験など

（４）出願期間

令和７年１１月１日（土）から１１月６日（木）まで（締切当日消印有効）

(5) 学力検査等の期日

令和7年11月15日(土)〈注〉

注 大規模災害等により上記試験日で入試を実施することができない場合、令和7年11月29日(土)を入試予備日とし、この日程で学力検査等を実施します。
入試予備日で学力検査等を実施した場合の合格発表日及び入学手続期間はホームページにてお知らせします。

(6) 学力検査等の会場

島根県立大学短期大学部松江キャンパス(島根県松江市浜乃木7丁目24番2号)

(7) 合格発表

令和7年11月28日(金)

(8) 入学手続期間

令和7年11月29日(土)から12月5日(金)まで(必着)

障がい等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等（視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱、発達障がい、その他）があり、受験上及び修学上の配慮が必要な場合は、以下により相談してください。

1 相談の方法

相談書（本学所定の様式）に加え、医師の診断書または障害者手帳をお持ちの方は、その写しを添えて提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る在学（出身）学校関係者等との面談等を行います。

相談書は原則として在学（出身）学校等を経由して提出するものとします。

なお、受験上の配慮を希望する志願者に対しては、相談に基づき、審査の上で受験上の配慮を決定します。決定に当たっては個々の症状や状態等を総合的に判断します。

2 相談書の提出期限

	学校推薦型選抜、総合型選抜、社会人（・学士）特別選抜、帰国生特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の場合	一般選抜の場合
島根県立大学 人間文化学部	令和7年8月29日（金）まで	令和8年1月23日（金）まで
島根県立大学 短期大学部		

※ 事前相談のための時間を十分にとるため、お早目の提出をお願いします。

※ 期限を過ぎる場合は必ず電話でご相談ください。

3 相談書の提出先

島根県立大学・島根県立大学短期大学部 学務課

住所 〒690-0044 島根県松江市浜乃木7丁目24番2号

電話 0852-20-0236

入 試 日 程														
選抜 区分	学部	コース	令和7年						令和8年					
			9月	10月	11月		12月		1月	2月		3月		
総合型選抜	国際関係	国際関係 国際コミュニケーション	出願期間 25日(木) 30日(火)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 1日(土)	入学手続 期間 2日(日) 7日(金)								
	地域政策	経済経営・ デジタル マネジメント 地域づくり	出願期間 25日(木) 30日(火)	試験日 18日(土) 19日(日)	合格発表 1日(土)	入学手続 期間 2日(日) 7日(金)								
	看護栄養		出願期間 12日(金) 18日(木)	試験日 (1次試験) 10.10日(金) (2次試験) 18日(土)、19日(日)	合格発表 (1次通過者発表) 10.10日(金) (最終合格者発表) 11.1日(土)	入学手続 期間 2日(日) 7日(金)								
	人間文化				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 22日(土) 23日(日)(祝)	合格発表 5日(金)	入学手続 期間 6日(土) 12日(金)						
	短期大学				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)	合格発表 28日(金)	入学手続 期間 11.29日(土) 5日(金)						
学校推薦型選抜	国際関係	国際関係			出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)	合格発表 1日(月)	入学手続 期間 2日(火) 8日(月)						
	地域政策	経済経営・ デジタル マネジメント			出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)	合格発表 1日(月)	入学手続 期間 2日(火) 8日(月)						
	地域公共				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)		合格発表 9日(月)	入学手続 期間 10日(火) 16日(月)					
	看護栄養				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 22日(土) 23日(日)(祝)		合格発表 10日(火)	入学手続 期間 11日(水) 18日(木)					
	人間文化				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 22日(土) 23日(日)(祝)	合格発表 5日(金)	入学手続 期間 6日(土) 12日(金)						
	短期大学				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)	合格発表 28日(金)	入学手続 期間 11.29日(土) 5日(金)						
	地域政策	地域づくり			出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 15日(土) 16日(日)	合格発表 1日(月)	入学手続 期間 2日(火) 8日(月)						
	看護栄養				出願期間 1日(土) 6日(木)	試験日 22日(土) 23日(日)(祝)	合格発表 1日(月)	入学手続 期間 2日(火) 8日(月)						
	人間文化													
	短期大学													
一般選抜	国際関係								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)	試験日 25日(水)	合格発表 5日(木)	入学手続 期間 6日(金) 13日(金)		
	地域政策								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)		合格発表 5日(木)	入学手続 期間 6日(金) 13日(金)		
	看護栄養								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)	試験日 25日(水) 26日(木)	合格発表 5日(木)	入学手続 期間 6日(金) 13日(金)		
	人間文化								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)	試験日 25日(水) 26日(木)	合格発表 4日(水)	入学手続 期間 5日(木) 11日(水)		
	短期大学								出願期間 19日(月) 24日(土)	試験日 1.31日(土) 1日(日)	合格発表 13日(金)	入学手続 期間 14日(土) 24日(火)		
	国際関係								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)			試験日 12日(木) 13日(金)	合格発表 20日(金)(祝)	入学手続 期間 21日(土) 27日(金)
	地域政策								出願期間 1月26日(月) 2月4日(火)			試験日 12日(木) 13日(金)	合格発表 20日(金)(祝)	入学手続 期間 21日(土) 27日(金)

募集人員一覧(別科助産学専攻を除く)

学部	学科	コース	入学 定員	一般選抜		学校推薦型選抜			総合型 選抜 (共テ課 さない)	特別選抜		
				前期 日程 (短大部は 独自日程)	後期 日程	一般 推薦 (共テ課す)	一般 推薦 (共テ課 さない)	しまね 高大連携 推薦 (共テ課 さない)		社会人 (・学士)	帰国生	私費 外国人 留学生
国際 関係	国際 関係	国際関係	45	25	5		5		10	若干名	若干名	若干名
		国際コミュニ ケーション	45	25	5				15	若干名	若干名	若干名
	小　　計		90	50	10		5		25	－		
地域 政策	地域 政策	経済経営・ デジタル マネジメント	45	20	5		10		10	若干名	若干名	若干名
		地域公共	45	25	10	10				若干名	若干名	若干名
		地域づくり	50	15	5			20	10	若干名	若干名	若干名
	小　　計		140	60	20	10	10	20	20	－		
看護 栄養	看護	－	80	34		28		8 名 以内	10	3 名 以内	1 名 以内	1 名 以内
	健康 栄養	－	40	19		13		3 名 以内	5	1 名 以内	1 名 以内	1 名 以内
	小　　計		120	53		41		11	15	－		
人間 文化	保育 教育	－	40	20			15		地域教員希望枠 5	1 名 以内	1 名 以内	1 名 以内
	地域 文化	－	70	37			18		15 地域教員希望枠 (3)	1 名 以内	1 名 以内	1 名 以内
	小　　計		110	57			33		20	－		
短期 大学	保育	－	40	10			20		10	1 名 以内	1 名 以内	1 名 以内
	文化情報	－	40	10			20		10	若干名	若干名	1 名 以内
	小　　計		80	20			40		20	－		
合　　　計			540	240	30	51	88	31	100	－		



公立大学法人
島根県立大学



公立大学法人 島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン

国際関係学部

国際関係学科(4年制)

地域政策学部

地域政策学科(4年制)

大学院北東アジア開発研究科

(博士前期2年制・博士後期3年制)

浜田キャンパス

島根県浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2203

看護栄養学部

看護学科(4年制) 健康栄養学科(4年制)

別科助産学専攻(1年制)

大学院看護学研究科

(博士前期2年制・博士後期3年制)

出雲キャンパス

島根県出雲市西林木町151 TEL:0853-20-0232

人間文化学部

保育教育学科(4年制) 地域文化学科(4年制)

短期大学部

保育学科(2年制) 文化情報学科(2年制)

松江キャンパス

島根県松江市浜乃木7-24-2 TEL:0852-20-0236

<https://www.u-shimane.ac.jp/>

島根県立大学



出願は、インターネットで！

いつでもどこでも出願！PCでもスマホでも出来ます！

※詳細は、入学者選抜要項や各学部・学科のホームページへ掲載する学生募集要項でご確認ください。

※特別選抜(社会人・学士・帰国生・私費外国人留学生)及び編入学試験は、インターネット出願を導入していませんので、各学部・学科へ願書をご請求ください。

公立大学法人 島根県立大学
「インターネット出願サイト」

<https://e-apply.jp/ds/pu-shimane/>

